

令和4年度 歯科衛生学科第2学年シラバス

◆基礎分野

	page		page		page
情報基礎管理学	1	心理学	2	外国語（実践英語）	4

◆専門基礎分野

病理学・口腔病理学	6	生化学・口腔生化学	8	衛生学・公衆衛生学	10
口腔衛生学	13	公衆歯科衛生学 (歯科衛生統計)	15		

◆専門分野

障害者歯科学	17	高齢者歯科学	18	歯科放射線学	19
う蝕予防処置法	21	歯周病予防処置法	24	口腔保健管理法	26
保健指導法	28	訪問歯科保健指導法	32	栄養指導法	35
歯科診療補助法	37	インプラント歯科診療補助法	39	感染予防法	41
臨床検査法	43	救急蘇生法	45	社会保険事務	46
病院等臨床実習	48	臨地実習①	49	臨地実習②	50
臨地実習③	51	臨地実習④	52		

◆選択必修分野

研究	53	コミュニケーション論	54		
----	----	------------	----	--	--

第2学年 情報基礎管理学

時間数	10時間 (2時間×5回)
担当者	教養教育センター 情報科学科(数学分野) 助教 長谷川 大
一般目標	パーソナル・コンピュータ実習を通して、日常臨床あるいは研究活動上の諸問題を、情報処理という枠組みの中で解決するために必要な論理的思考法と構成的推論能力を養う。実践的には、図表やスライドあるいはレポートの作成、インターネットによる情報検索、メールの送受信などの基本的なコンピュータ操作能力を身に付けることを到達目標とする。
成績評価	提出課題の内容で評価する。
教科書	「学生のための情報リテラシーOffice2016/Windows10版」 (東京電機大学出版局、若山芳三郎著)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	6	6	月	2	長谷川	画像処理	<ul style="list-style-type: none"> デジタル画像のコンピュータの処理手順を理解し、画像加工技術の基本を習得する。 デジタル画像をコンピュータ内に取り込むことができる。 画像処理ソフトを起動し、画像を作成した後で保存できる。
2	6	13	月	2	長谷川	プレゼンテーション・ソフト(1)	<ul style="list-style-type: none"> PowerPointによるスライド作成手順の習得を通して、より正確で効果的なプレゼンテーションの方法について学ぶ。 PowerPointを起動し、スライドを作成・保存し、終了できる。 スライド作成に必要な書式・挿入・表示機能を習得できる。
3	6	20	月	2	長谷川	プレゼンテーション・ソフト(2)	<ul style="list-style-type: none"> スライドに外部オブジェクトを挿入・リンクすることができる。 スライドの構成(=発表内容の章立て)について習得している。 マルチメディア機能を効果的に適用できる。
4	6	27	月	2	長谷川	プレゼンテーション・ソフト(3)	<ul style="list-style-type: none"> スライドショーを実行させることができる。 発表内容に対して適切なアニメーションを設定できる。 PowerPointによるプレゼンテーションができる。 プレゼンテーションの際の話し方、説明の仕方を自分なりに決められる。
5	7	4	月	2	長谷川	プレゼンテーション・ソフト(4)	<ul style="list-style-type: none"> 課題作成を通して、これまでに履修した技術・知識を自己点検するとともにデジタルプレゼンテーションにより外部評価を受ける。 他人のプレゼンテーションを適切に評価できる。

第2学年 心理学

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	岩手大学 人文社会科学部 教授 松岡和生
一般目標	心理学は、人間の意識と行動を対象として、方法面では実験と統計の手法を使う点に特色のある分野である。本講義では、心理学の領域の広がり、心理学の概念と方法と特徴、人間を全体として見ることに重点をおいて、心理学がどんなものかを理解する。
成績評価	レポート、試験の成績で総合評価する。
教科書	「最新歯科衛生士教本 心理学」全国歯科衛生士教育協議会監修(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	6	水	2	松岡	心理学序論(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学の対象と方法を知る。 ・心理学と他分野との関係を説明できる。 ・心理学が人間の意識と行動の科学であることを説明できる。 ・心理学の基本的な方法(実験・検査・調査)を概説できる。
2	4	13	水	2	松岡	心理学序論(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学の成立と展開の過程を理解する。 ・心理学が成立した時期とその背景について説明できる。 ・心理学の対象が発達・人格・社会へ拡大する過程を説明できる。 ・応用分野が適性検査から臨床心理学に拡張する過程を説明できる。
3	4	20	水	2	松岡	欲求とフラストレーション(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の内部要因としての欲求の働きを理解する。 ・基本的欲求と派生的欲求を説明できる。 ・生理的欲求と社会的欲求を説明できる。 ・欲求間の関係と階層性を説明できる。
4	4	27	水	2	松岡	欲求とフラストレーション(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・フラストレーション(欲求不満) ・フラストレーションの発生条件を説明できる。 ・欲求間の相互作用を説明できる。 ・葛藤の状態を説明できる。
5	5	18	水	2	松岡	性格の心理学(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・性格の概念と理論を理解する。 ・性格・人格・気質・個性の意味を説明できる。 ・類型の概念と主要な類型論を説明できる。 ・特性の概念と主要な特性論を説明できる。 ・性格の構造に着目した理論(成層論など)を簡略に説明できる。
6	5	25	水	2	松岡	性格の心理学(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・人格質問紙法の特徴と使用法を理解する。 ・特性の分類法を説明できる。 ・解析法としての因子分析を説明できる。 ・主要な方法をあげ、その特徴を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
7	6	1	水	2	松岡	知能の心理学(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・知能を定義できる。 ・知能と学習能力の関係を説明できる。 ・知能の創造的側面を知る。
8	6	8	水	2	松岡	知能の心理学(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・知能の検査を理解する。 ・ビネー式検査の特徴を説明できる。 ・集団式検査とそれができた背景を説明できる。 ・ウェクスラー式検査の特徴を説明できる。
9	6	15	水	2	松岡	心理テスト実習	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の心理テストを受け、結果を集計してテストの実際を体験する。 ・Y-G検査の構成を体験的に知る。 ・MMPIの内容を体験的に知る。 ・ライスケールの意義と問題点を指摘できる。
10	6	22	水	2	松岡	試験と検査の基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> ・心理テストの学力試験の性質を理解する。 ・試験の社会的意義を説明できる。 ・心理テストとしての特徴を説明できる。
11	6	29	水	2	松岡	感覚・知覚の心理学(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚の分類基準を理解する。 ・刺激と感覚の関係を説明できる。 ・刺激の種類により感覚を分類できる。 ・受容器の種類により感覚を分類できる。 ・モダリティそのものにより感覚を分類できる。
12	7	6	水	2	松岡	感覚・知覚の心理学(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚の測定法としての精神物理学的方法を理解する。 ・刺激閾と弁別閾を説明できる。 ・ウェーバーの比を説明できる。 ・フェヒナーの対数法則を説明できる。
13	7	13	水	2	松岡	記憶の心理学(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・短期記憶と長期記憶の特徴を説明できる。 ・ワーキングメモリーのモデルを説明できる。 ・エピソード記憶と意味記憶の違いを説明できる。 ・記憶を進化の視点、発達の視点から説明できる。
14	7	20	水	2	松岡	記憶の心理学(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・記憶の変容性について理解する。 ・目撃証言の実験の意味について理解する。 ・虚偽記憶について説明できる。 ・感情と記憶の関係について説明できる。
15	9	20	火	2	松岡	定期試験	

第2学年 外国語(実践英語)

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	教養教育センター 外国語学科(英語分野) 教授 James Hobbs
一般目標	This class will focus on English for oral communication, with a special focus on topics related to health and oral hygiene. By working individually, in pairs, and in small groups to complete a range of communication activities, students will be able to use English for basic communication with patients. In addition to a final exam, students will be assessed on a short, original speech on a topic of their choice related to dental hygiene.
成績評価	筆記試験の成績(50%)、オリジナルスピーチ(20%)、授業の取り組み方、課題提出など(30%)
教科書	指定の教科書・参考書はありません。必要な資料／プリントを冊子にまとめ、講義で配布する
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	9	26	月	1	Hobbs	Topics in health and oral hygiene (1)	1. Can give a self-introduction in English. 2. Can understand and correctly pronounce vocabulary related to tooth brushing.
2	9	26	月	2	Hobbs	Topics in health and oral hygiene (2)	1. Can explain in English how to brush teeth. 2. Can ask and answer questions in English about basic oral hygiene.
3	10	17	月	1	Hobbs	Topics in health and oral hygiene (3)	1. Can understand and correctly pronounce vocabulary related to flossing. 2. Can explain in English how to floss teeth.
4	10	17	月	2	Hobbs	Topics in health and oral hygiene (4)	1. Can understand a range of spoken texts about flossing. 2. Can give a short speech explaining good points and bad points of one's own oral hygiene habits.
5	11	7	月	1	Hobbs	Topics in health and oral hygiene (5)	1. Can understand and correctly pronounce vocabulary related to bad breath. 2. Can Explain in English causes of and cures for bad breath.
6	11	7	月	2	Hobbs	Topics in health and oral hygiene (6)	1. Can critically examine advice regarding bad breath, and organize information by order of importance. 2. Can explain in English an original home remedy for a common medical complaint.

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
7	11	14	月	2	Hobbs	Presentation preparation (1)	1. Can create an appropriate original title for a speech. 2. Can understand how to structure a short speech.
8	11	28	月	2	Hobbs	Presentation preparation (2)	1. Can prepare a written draft of a short speech. 2. Can understand various strategies for delivering an effective presentation.
9	12	5	月	2	Hobbs	Presentation preparation (3)	1. Can deliver a presentation clearly in pairs and small groups. 2. Can advise other students on edits and strategies to improve a presentation.
10	12	12	月	1	Hobbs	Student presentations (1)	1. Can deliver a short oral presentation to an audience, OR 2. Can give relevant feedback and /or ask appropriate questions about another person's presentation.
11	12	12	月	2	Hobbs	Student presentations (2)	1. Can deliver a short oral presentation to an audience, OR 2. Can give relevant feedback and /or ask appropriate questions about another person's presentation.
12	1	16	月	2	Hobbs	Talking to patients (1)	1. Can understand and correctly pronounce key vocabulary and phrases for interacting with patients. 2. Can understand a basic conversation between a dental hygienist and a patient.
13	1	23	月	2	Hobbs	Talking to patients (2)	1. Can give directions to patients in English. 2. Can ask patients appropriate questions in English during treatment.
14	1	30	月	2	Hobbs	Talking to patients (3)	1. Can work collaboratively to create a roleplay to match a given dental treatment scenario. 2. Can perform an original roleplay in front of an audience.
15	2	13	月	2	Hobbs	定期試験	

第2学年 病理学・口腔病理学

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	病理学講座(病態解析学分野) 教授 入江 太朗 病理学講座(病態解析学分野) 特任講師 衣斐 美歩
一般目標	病理学は疾病の原因、発生機序などを究明する学問であり、基礎医学と臨床医学に密に関連している分野である。ここでは、歯科衛生士として必要となる病理学の基礎、疾病の理論、口腔病変の概要についての知識を習得する。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 「疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学」(医歯薬出版) 「臨床検査」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	12	火	2	入江	病理学序論と病因論 1) 病理学の目的・内容 2) 内因と外因 遺伝性疾患と奇形 1) 遺伝性疾患および染色体の異常による疾患 2) 奇形 口腔領域の奇形 (三. I-1-A・B, 2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士として病理学的知識の必要性を理解する。 ・ 病因の種類(主因、副因、誘因)を説明できる。 ・ 遺伝の基本概念と遺伝性疾患について説明できる。 ・ 奇形の種類と原因を説明できる。 ・ 口腔領域の奇形について説明できる。
2	4	19	火	2	入江	循環障害 1) 循環血液量の障害 2) 閉塞性の循環障害 (三. I-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 循環障害の状態と原因、歯科臨床との関わりについて説明できる。
3	4	26	火	2	衣斐	代謝障害と退行性病変 1) 変性 2) 萎縮 3) 壊死 4) アポトーシス (三. I-4-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物質の代謝障害によって起こる退行性病変の概要について説明できる。
4	5	10	火	2	入江	増殖と修復 1) 肥大と増生 2) 再生と創傷治癒 3) 肉芽組織 4) 器質化 (三. I-5-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細胞、組織の機能亢進によって起こる病変について説明できる。 ・ 病変の修復と創傷治癒について説明できる。
5	5	24	火	2	衣斐	炎症 1) 炎症の原因と分類 2) 炎症の経過 3) 炎症の各型 (三. I-6-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炎症の定義について説明できる。 ・ 炎症の5大徴候について説明できる。 ・ 炎症の経過について説明できる。 ・ 炎症の各型について説明できる。
6	5	31	火	2	衣斐	免疫応答異常 1) 免疫反応に関与する組織系と細胞 2) 免疫応答 3) 免疫の種類 4) アレルギー (三. I-7-A, II-4-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 免疫の機構について説明できる。 ・ アレルギー反応の種類とその疾患について説明できる。 ・ 歯科領域におけるアレルギー疾患について説明できる。
7	6	7	火	2	入江	腫瘍 1) 腫瘍の原因 2) 腫瘍の発生 3) 腫瘍の形態 4) 腫瘍の発育様式と拡がり方 5) 分類 (三. I-8-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 腫瘍の定義について説明できる。 ・ 腫瘍の原因や形態について説明できる。 ・ 良性腫瘍と悪性腫瘍の発育様式、転移、再発、予後などについて違いを説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	6	28	火	2	衣斐	歯の発育異常 1) 歯の大きさ・形の異常 2) 歯の構造や数の異常など 歯の損傷と着色・付着物 (三. I-9-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の種々の異常について説明できる。 歯の損傷およびそれらの原因について説明できる。 歯の沈着物や着色の種類とそれらの沈着メカニズム、成り立ちについて説明できる。
9	7	5	火	2	入江	う蝕 1) 病因と分類 2) エナメル質う蝕 3) 象牙質う蝕 4) セメント質う蝕 (三. I-10-A~C II-10-A) 象牙質・歯髄複合体の病態 1) 象牙質の増生 2) 歯髄炎 (三. I-11-A~C I-12-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の病因、主因と誘因について説明できる。 う蝕の分類、部位や進行度について説明できる。 修復象牙質の形成部位、生理的・病的形成の違いを説明できる。 歯髄炎の病因、病態および分類について説明できる。
10	7	12	火	2	入江	歯周組織の病態 1) 根尖性歯周炎 2) 歯周疾患 (三. I-13-A, 14-A)	<ul style="list-style-type: none"> 根尖性歯周炎の病因、病態、感染経路、臨床所見を急性と慢性各々について説明できる。 歯肉炎と歯周炎の病因、臨床所見、病理組織所見について説明できる。
11	7	19	火	2	入江	口腔粘膜の病変 1) 局所性粘膜病変 2) 全身性疾患に伴う粘膜病変 (六. IV-1-C) 口腔領域の嚢胞 1) 歯原性嚢胞 2) 非歯原性嚢胞 (三. I-17-B)	<ul style="list-style-type: none"> 局所性粘膜病変について説明できる。 全身性疾患に伴う粘膜病変について説明できる。 嚢胞の定義について説明できる。 口腔領域に発生する嚢胞の成り立ちについて説明できる。
12	8	23	火	2	入江	口腔領域の腫瘍 1) 歯原性腫瘍 2) 非歯原性腫瘍 (三. I-17-C) 口腔癌 (六. IV-1-F)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔領域に発生する腫瘍の臨床所見、組織所見について説明できる。
13	8	30	火	2	入江	顎骨の病変 (六. IV-1-B・D・G) 唾液腺の病変 (三. I-18-A~D, 六-IV-1-H)	<ul style="list-style-type: none"> 顎骨病変について説明できる。 唾液腺の病変について説明できる。
14	9	6	火	2	衣斐	老化 1) 全身の老化 2) 口腔領域の老化 (三. I-4-B, 11-B, 12-B)	<ul style="list-style-type: none"> 老化のメカニズムについて説明できる。 全身の老化について説明できる。 口腔領域、とくに歯周組織と歯の老化について説明できる。
15	9	13	火	2	入江	病理検査 1) 口腔領域における病理検査 2) 病理検査の実際 (六. I-4-C)	<ul style="list-style-type: none"> 病理検査の種類と方法について説明できる。 病理検体の採取方法と取り扱いについて説明できる。
	9	21	水	2	入江 衣斐	定期試験	

第2学年 生化学・口腔生化学

時間数	20時間 (2時間×10回)
担当者	医学部・歯学部 生化学講座(細胞情報科学分野) 助教 横田聖司
一般目標	生体を構成する物質の構造、機能、代謝の基礎的原理を理解する。 口腔領域に関する物質の構造と機能を生化学的に理解する。 臨床科目の生化学的側面を十分理解できるレベルを到達目標とする。
成績評価	筆記試験の成績(100%)で総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「人体の構造と機能2 栄養と代謝」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	13	水	4	横田	細胞と遺伝子 1)細胞小器官 2)遺伝子 3)セントラルドグマ (一. II-1-C、2-A・B 11-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 生体を構成する物質について理解する。 細胞小器官の構造と役割を理解する。 遺伝情報の流れを理解する。
2	4	19	火	4	横田	糖質の代謝 1)糖質 2)解糖と糖新生 3)クエン酸回路 4)電子伝達系 5)グリコーゲン代謝と血糖調節 (一. II-1-C、2-E)	<ul style="list-style-type: none"> 糖代謝の過程を理解する。 解糖と糖新生の役割を説明できる。 酸化的リン酸化を説明できる。 ATP生成について理解する。 血糖調節ホルモンを列挙し、その役割を説明できる。
3	4	26	火	4	横田	脂質とアミノ酸の代謝 1)脂質の分類 2)脂質の分解とATP生成 3)アミノ酸とタンパク質 4)アミノ酸の分解とATP生成 5)尿素サイクル (一. II-1-C、2-E)	<ul style="list-style-type: none"> 脂質の構造と種類を説明できる。 脂質の分解からATP生成までを理解する。 タンパク質の構造とアミノ酸の種類を説明できる。 アミノ酸の分解からATP生成までを理解する。
4	5	24	火	4	横田	演習講義① 1)知識の定着 2)問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙する。 学習方法を説明できる。 理解した項目を身に付ける。
5	5	31	火	4	横田	結合組織 1)コラーゲンとエラスチン 2)プロテオグリカン 3)接着タンパク 4)細胞外マトリックス成分の分解 (一. II-1-C、2-B・E) (二. II-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> コラーゲンの構造、アミノ酸組成、種類と局在を説明できる。 コラーゲンの合成、分解の過程を理解する。 エラスチンについて説明できる。 プロテオグリカンについて説明できる。 歯周組織を上皮、軟・硬組織に区分し、その組成を理解する。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6	6	7	火	4	横田	歯と骨の構成成分 1) 歯の無機成分 2) 歯の有機成分 3) 歯と骨の石灰化の特徴 4) カルシウムとリン酸代謝の調節機構 (二. II-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒドロキシアパタイトについて理解する。 ・エナメル質、象牙質、セメント質の有機成分について説明できる。 ・石灰化の仕組みと特徴を理解する。 ・副甲状腺ホルモン、カルシトニン、ビタミンDによるカルシウム・リン酸代謝の調節機構を説明できる。 ・歯の脱灰と再石灰化を理解する。
7	6	28	火	4	横田	演習講義② 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
8	7	5	火	4	横田	唾液と歯の堆積物 1) 唾液の成分と作用 2) ペリクルの組成 3) プラークの組成と形成過程 4) 歯石の形成過程 (二. II-1-C) (四. I-4-A、5-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・唾液の無機成分、有機成分について理解する。 ・各唾液成分の機能と作用を説明できる。 ・ペリクル・プラークの組成と形成機構を理解する。 ・プラークの組成と形成機構を理解する。 ・歯石の組成と形成機構と性質を理解する。 ・菌体外多糖の生成過程を説明できる。
9	7	12	火	4	横田	歯周疾患の免疫 1) 口腔疾患と自然免疫系 2) 口腔疾患と獲得免疫系 (三. II-4-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然免疫系に関与する細胞成分と局所に炎症をもたらす化学メディエーターについて理解する。 ・慢性炎症時に獲得免疫系に関与する細胞成分と、これらの細胞が分泌する免疫グロブリンやサイトカインについて理解する。 ・歯周疾患への免疫反応の関与について理解する。
10	7	19	火	4	横田	演習講義③ 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
	9	20	火	3	横田	定期試験	

第2学年 衛生学・公衆衛生学

時間数	30時間 (2時間×15回 試験 2時間含む)
担当者	歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 教授 岸 光男
一般目標	集団、地域に生じる健康に関する一般的問題を理解し、特定集団・地域における問題把握能力を培う。
成績評価	筆記試験
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」(医歯薬出版)
参考書	歯科衛生士書き込み式学習ノート②社会歯科系科目編(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	14	木	3	岸	公衆衛生の概念 健康の概念 予防の考え方と適用 (四. VIII-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの違いを説明できる。 健康の概念について概説できる。 疾病の自然史と予防の概念の関係を説明できる。 予防の概念を歯科疾患に適用できる。
2	4	21	木	3	岸	生涯を通じた保健・福祉 a 生活習慣と健康・長寿 b ヘルスプロモーション 健康増進法 (四. VII-1-I、 2-E・F、VIII-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 健康日本21を概説できる。 プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを定義できる。 保健、医療、福祉の役割を説明できる。 健康増進法について概説できる。
3	4	28	木	3	岸	人口統計 (四. VIII-2-A～C)	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な人口統計指標を列挙できる。 日本人の主な死因の推移を概説できる。
4	5	19	木	3	岸	生活環境と健康 a 空気 b 飲料水 c 温熱環境及び気候 d 放射線 e 環境適応 (四. VIII-3-B)	<ul style="list-style-type: none"> 空気の正常成分と異常成分を列挙できる。 温熱指標を列挙できる。 空気、温熱環境の測定法を列挙できる。 生活用水の取水から排水までの経路を説明できる。 上下水道の水質基準を説明できる。 放射線の健康影響を説明できる。 ホメオスタシスを説明できる。
5	5	26	木	3	岸	環境保全・公害防止 地球環境と健康 廃棄物処理 (四. VIII-3-A・C・D)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の代表的な公害事例を列挙できる。 主な地球環境問題を列挙できる。 地球温暖化の影響を列挙できる。 環境基本法を概説できる。 廃棄物処理法を概説できる。 医療施設からの廃棄物処理方法を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6	6	2	木	3	岸	疫学の定義 疫学の研究方法 a 記述疫学 b 分析疫学 c 観察研究 d 介入研究 (四. VIII-4-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 疫学を定義できる。 病因とリスク要因の違いを説明できる。 記述疫学と分析疫学の違いを説明できる。 観察研究と介入研究の違いを説明できる。 コホート研究と患者対照研究の違いを説明できる。 与えられたデータから相対危険度と寄与危険度を求められる。
7	6	9	木	3	岸	疫学調査方法 (四. VIII-4-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 有病率と発病率の違いを説明できる。 疫学調査法の分類を列挙できる。 標本調査の目的を列挙できる。 標本抽出法を列挙できる。
8	6	16	木	3	岸	スクリーニング検査 (四. VIII-4-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> スクリーニング検査の意義を説明できる。 スクリーニングの有効性の指標を説明できる。 与えられたデータから、感度、特異度を算出できる。
9	6	23	木	3	岸	感染症の予防 院内感染の防止 主要感染症の動向と予防 食品と健康 (四. VIII-5-A~C 7-A)	<ul style="list-style-type: none"> 感染症成立要素を列挙できる。 感染症成立要素に応じた対策を列挙できる。 感染症法について概説できる。 院内感染対策法を列挙できる。 国民健康・栄養調査を概説できる。 食中毒の原因を列挙できる。 食品添加物を説明できる。 保健機能食品について説明できる。
10	6	30	木	3	岸	地域保健総論 (四. VIII-8-A~G IX-2-F・H)	<ul style="list-style-type: none"> 地域保健における国、都道府県、市町村及び個人の役割を説明できる。 地域保健の対象と掌管法規の組合せを列挙できる。 保健所と市町村保健センターの役割の違いを説明できる。 地域保健法と医療法の関連を概説できる。 医療圏と保健医療計画を説明できる。 地域保健活動の原則を説明できる。
11	7	7	木	3	岸	母子保健 (四. VIII-9-A~C IX-2-H)	<ul style="list-style-type: none"> 地域保健法と母子保健法の関連を概説できる。 母子保健統計指標を列挙できる。 市町村の母子保健事業を列挙できる。 都道府県の母子保健事業を列挙できる。 母子保健法と児童福祉法の関連を概説できる。 すこやか親子21の具体的施策を列挙できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
12	7	14	木	3	岸	学校保健 (四.Ⅷ-10-A~D VI-4-D)	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健教育と学校保健管理を概説できる。 学校教育法と学校保健安全法の関連を概説できる。 学校保健委員会の構成者を列挙できる。 学校保健統計を概説できる。 学校病を列挙できる。 学校感染症を列挙できる。 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の業務を列挙できる。 学校健康診断の種類を列挙できる。
13	7	21	木	3	岸	老人保健 介護保険 (四.Ⅷ-11-A・B・D・E)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の心身の特徴を概説できる。 高齢者の医療の確保に関する法律を概説できる。 介護保険における居宅サービスと施設サービスを列挙できる。 介護保険施設を列挙できる。 急性期医療と慢性期療養の違いを説明できる。
14	8	18	木	3	岸	産業保健 精神保健 (四.Ⅷ-12-A~D -A・B) 13	<ul style="list-style-type: none"> 労働基本法と労働安全衛生法の違いを概説できる。 労働安全委員会の構成者を列挙できる。 職業性疾患を列挙できる。 環境管理、作業管理、健康管理を説明できる。 職域健康診断の種類と事後措置を列挙できる。 トータルヘルスプロモーションプラン(THP)を概説できる。 健康診断と健康測定の違いを説明できる。 THPの4本柱を列挙できる。 ストレスと精神保健の関連を説明できる。 精神保健福祉法を概説できる。
15	9	22	木	1	岸	定期試験	

第2学年 口腔衛生学

時間数	20時間 (2時間×10回)
担当者	歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 講師 佐藤 俊郎 歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 助教 大石 泰子
一般目標	歯科医療には歯科疾患の治療を行うだけでなく、健康増進と疾患の発病予防を支援し、国民の健康に寄与することが求められる。この国民の負託に応えることができる歯科衛生士となるために必要な知識を習得し、態度・技能を身につける。
成績評価	定期試験100%
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学」(医歯薬出版) 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版」(医歯薬出版)
参考書	歯科衛生士書き込み式学習ノート②社会歯科系科目編(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	6	15	水	3	佐藤	歯口清掃状態の数量化 歯・口腔の付着物・沈着物 (四. I-5-A・B、VI-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯・口腔の付着物、沈着物を列挙し、説明できる。 口腔清掃状態の指数を列挙し、説明できる。
2	6	22	水	3	大石	齲蝕の数量化 齲蝕の疫学 (四. III-1-A、VI-1-A、2-A)	<ul style="list-style-type: none"> 齲蝕の指数を列挙し、説明できる。 齲蝕の疫学的特徴を説明できる。
3	6	29	水	3	佐藤	歯周疾患の数量化 歯周疾患の疫学 歯周疾患の予防 (四. I-5-A・B、VI-1-B・C、2-B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患の指数を列挙し説明できる。 歯周疾患の疫学的特徴を説明できる。 歯周疾患の症状と分類を説明できる。 歯周疾患の予防手段と処置を説明できる。
4	7	6	水	3	佐藤	その他の歯科疾患の数量化 その他の歯科疾患の疫学 (四. VI-1-D・E)	<ul style="list-style-type: none"> 不正咬合や歯のフッ素症などのその他の歯科疾患の指数を列挙し、説明できる。 その他の歯科疾患の疫学的特徴について説明できる。
5	7	13	水	3	佐藤	口腔清掃 (四. II-1-A・B、4-A・B、5-A~D、八. III-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔清掃法を説明できる。 不適切な口腔清掃による為害作用を説明できる。 歯磨剤と洗口剤について説明できる。
6	7	20	水	3	大石	歯科疾患の国際比較	<ul style="list-style-type: none"> 発展途上国の歯科保健を概説できる。 先進国の歯科保健を概説できる。 生活環境と歯科保健の関係を概説できる。
7	8	24	水	3	佐藤	齲蝕の予防 (四. III-1-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 齲蝕の発生要因を説明できる。 齲蝕の発症機序を説明できる。 齲蝕の予防法を説明できる。
8	8	31	水	3	佐藤	まとめ① (四. I-5-A・B、II-1-A・B、4-A・B、5-A~D、VI-1-B~E、VI-2-B、八. III-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔内の付着物、歯周疾患、口腔清掃状態に応じた口腔清掃法や歯磨剤を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	9	7	水	3	大石	まとめ② (四. III-1-A~E、VI-1-A、2-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕の疫学、数量化、予防について説明できる。 ・国際的な歯科口腔保健を概説できる。
10	9	16	金	1	佐藤 大石	定期試験	

第2学年 公衆歯科衛生学

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 講師 佐藤 俊郎 歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 非常勤講師 阿部 晶子
一般目標	地域歯科保健の概念および活動の内容を理解し、将来において歯科衛生士として専門的立場からの支援を行うための能力を培う。 統計学の基礎的事項を学ぶことによって、公衆歯科衛生に関わる様々なデータの性質を理解し、分析においてデータの性質に応じた適切な検定法を使用できる能力を養う。
成績評価	客観評価
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第2版」 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学」(医歯薬出版)
参考書	歯科衛生士書き込み式学習ノート②社会歯科系科目編(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	13	水	1	阿部	地域歯科保健概論 (四. VII-1-A~I -8-A~C) VIII	<ul style="list-style-type: none"> 地域歯科保健活動の仕組みについて説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健対策の概要を説明できる。
2	4	20	水	1	阿部	地域歯科保健各論 母子歯科保健(1) 母性歯科保健 (四. VII-3-A~F VII. 9-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 母子歯科保健の意義と目的を説明できる。 母子歯科保健活動の仕組みについて説明できる。 母性歯科保健について説明できる。
3	4	27	水	1	阿部	母子歯科保健(2) 乳幼児歯科保健 (四. VII-3-A~F VII-9-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児歯科健康診査について説明できる。 齲蝕罹患型を理解し、各型に応じた保健指導の内容を説明できる。
4	5	18	水	1	阿部	学校歯科保健 (四. VII-4-A~C VII-10-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 学校歯科保健の意義と目的を説明できる。 学校歯科保健活動の仕組みについて説明できる。 歯・口腔の健康診査票を説明できる。
5	5	25	水	1	阿部	産業歯科保健 (四. VII-5-A~C VII-12-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 産業歯科保健の意義と目的を説明できる。 職域における歯科保健管理について説明できる。 口腔に関連する職業性疾患とその原因物質を列挙できる。 口腔に関連する職業性疾患の予防法を説明できる。
6	6	1	水	1	阿部	成人・高齢者歯科保健 (四. VII-6-A・B VII-11-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 成人・高齢者歯科保健の意義と目的を説明できる。 老人保健法における歯科保健について説明できる。
7	6	8	水	1	阿部	保健所・市町村の歯科保健活動 (四. VII-1-A~J 2-A~C、VII-8-A~G 八. VII-1-D)	<ul style="list-style-type: none"> 保健所の機能を説明できる。 市町村の歯科保健活動について説明できる。 地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	6	15	水	1	佐藤	衛生統計の基礎(1) (四. VI-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 統計学の2つの機能を説明できる。 母集団と標本集団について説明できる。 標本抽出法の種類を説明できる。
9	6	22	水	1	佐藤	衛生統計の基礎(2) (四. VI-3-B)	<ul style="list-style-type: none"> データの4つの尺度を説明できる。 度数分布を説明できる。 ヒストグラムを作成できる。 クロス集計を実行できる。
10	6	29	水	1	佐藤	衛生統計の基礎(3) VI-3-B (四.	<ul style="list-style-type: none"> 正規分布について説明できる。 基礎統計量を説明できる。 与えられたデータから、基礎統計量を算出できる。
11	7	6	水	1	佐藤	衛生統計の基礎(4) (四. VI-3-C)	<ul style="list-style-type: none"> 標本統計量の差の検定について説明できる。 標本統計量の差の検定を実行できる。
12	7	13	水	1	佐藤	衛生統計の基礎(5) (四. VI-3-C)	<ul style="list-style-type: none"> 散布図を作成できる。 相関について説明できる。 相関関係を算出できる。 相関係数の検定を実行できる。
13	7	20	水	1	佐藤	衛生統計の基礎(6) (四. VI-3-C)	<ul style="list-style-type: none"> 百分率の差の検定について説明できる。 χ^2テストを実行できる。 オッズ比を算出できる。
14	8	24	水	1	佐藤	歯科保健統計 (四. VI-4-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 国家統計調査の種類を説明できる。 歯科疾患実態調査を説明できる。 保健福祉動向調査を説明できる。 学校保健統計調査を説明できる。
15	9	15	木	2	佐藤 阿部	定期試験	

第2学年 障害者歯科学

時間数	10時間 (2時間×5回)
担当者	歯学部 口腔保健育成学講座(小児歯科学・障害者歯科学分野) 准教授 久慈昭慶 歯学部 口腔保健育成学講座(小児歯科学・障害者歯科学分野) 准教授 熊谷美保 歯学部 口腔保健育成学講座(小児歯科学・障害者歯科学分野) 講師 菊池和子
一般目標	身体的、知的あるいは精神的な障害を有する歯科患者への診療補助・予防処置および口腔保健指導と管理を習得する。
成績評価	出席(20%)、筆記試験の成績(80%)で総合評価する。
教科書	「歯科衛生士講座 障害者歯科学第2版」(末永書店)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	11	月	4	久慈	障害者の現況と歯科治療 1) 障害者の概念 2) 障害者歯科の特質 (六. VIII-1-A、2-A~G)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の種類、分類ができる。 ・ 障害者にみられる歯科的特性を列挙できる。
2	4	18	月	4	久慈	肢体不自由とその歯科的特徴 1) 脳性麻痺 2) 筋ジストロフィー 3) 脳血管障がい後遺症 (六. VIII-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害とその口腔内の特徴を列挙できる。 ・ 口腔機能の発達と障害を学習し、障害に対するケアの意義、方法を説明できる。
3	4	25	月	4	熊谷	知的障害とその歯科的特徴 1) 知的能力障害 2) 自閉スペクトラム症 3) 精神障害 (六. VIII-2-A、3-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害とその口腔内の特徴を列挙できる。 ・ 口腔機能の発達と障害を学習し、障害に対するケアの意義、方法を説明できる。
4	5	2	月	4	久慈	障害者歯科での行動調整 1) 通法 2) 心理的方法 3) 生理学的方法 (六. VIII-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健、治療における行動調整の種類と特徴を列挙できる。
5	5	9	月	4	菊池	障害者歯科での歯科衛生士の役割 1) 障害者歯科での診療補助 (九. IX-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の歯科衛生指導と診療補助に必要な情報収集と管理について習得する。 ・ 障害者の歯科診療における基本的な診療の流れを説明できる。
	9	15	木	3	久慈 菊池 熊谷	定期試験	

第2学年 高齢者歯科学

時間数	10時間（2時間×5回）
担当者	歯学部補綴・インプラント学講座（摂食嚥下・口腔リハビリテーション分野） 教授 小林琢也 非常勤講師 晴山 婦美子
一般目標	高齢者の特性を理解するとともに、高齢者を対象とした歯科治療を行う際の歯科診療補助・歯科予防処置および口腔保健指導と管理を習得する。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」第2版（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	5	月	1	小林	高齢者の歯科の現状と疾病 1) 高齢者の特性 2) 高齢者の健康と疾病 (六. VII-2-A~D, 3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの加齢による身体的、精神的特徴の概略とその問題点を説明できる。 ・高齢者が罹患しやすい疾患を列挙し、その特徴を説明できる。 ・高齢者の代表的な疾患への口腔の関わりについて説明できる。
2	9	12	月	1	小林	高齢者の口腔 1) 高齢者の口腔領域の特性 2) 高齢者に多い口腔領域の疾患 (六. VII-2-E、 八. II-1-E) 高齢者と薬剤 1) 高齢者の服用薬と歯科保健 2) 薬剤を使用するときの注意 (三. III-2-G)	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢が口腔領域に及ぼす影響について説明できる。 ・高齢者の口腔の構造と機能を説明できる。 ・高齢者に多い口腔疾患について説明できる。 ・他科で処方された薬剤と疾患の関連性を理解できる。 ・歯科医師の服薬指導内容を理解して説明できる。 ・投薬した薬剤の服薬状態を正確に聞き取ることができる。
3	10	3	月	2	晴山	高齢者歯科における歯科衛生士の役割 (六. VII-2-A~E VIII-2-C・E 九. I-3-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生理的な加齢変化と口腔領域の加齢変化を説明できる。 ・高齢者と医療面接がスムーズにできる。
4	10	24	月	1	晴山	高齢者に対する口腔のケア 1 (九. VIII-1-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の口腔のケア時の留意点について説明できる。 ・高齢者の口腔のケアに使用する器材について説明できる。
5	11	14	月	1	晴山	高齢者に対する口腔のケア 2 (九. VIII-1-A・C~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護高齢者の口腔機能・口腔内の特徴を説明できる。 ・要介護高齢者への口腔のケアについての手技や注意点を説明できる。
	12	13	火	1	小林 晴山	定期試験	

第2学年 歯科放射線学

時間数	30時間 (2時間×13回(講義) 4時間×1回(実習))
担当者	歯学部 口腔顎顔面再建学講座(歯科放射線学分野) 教授 田中 良一 歯学部 口腔顎顔面再建学講座(歯科放射線学分野) 准教授 泉澤 充 歯学部 口腔顎顔面再建学講座(歯科放射線学分野) 特任講師 高橋 徳明 歯学部 口腔顎顔面再建学講座(歯科放射線学分野) 助教 星野 正行
一般目標	歯科領域における疾患の診断と治療経過を把握するためエックス線検査についての基本的知識と撮影手技その他の画像診断法、放射線保護、放射線治療について習得する。
成績評価	筆記試験の成績で総合評価する。
教科書	歯科衛生士テキスト「わかりやすい歯科放射線学第3版」(学建書院)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	到達目標
1	4	11	月	1	田中	1章 放射線とX線(1) 1)放射線の種類 2)X線の一般的性質 3)放射線の単位 (六. I-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造および電離と励起について説明する。 放射線の種類を類別する。 X線の一般的性質について説明する。 以下の用語を定義する。 照射線量、吸収線量、等価線量、実効線量、放射線加重係数、組織加重係数
2	4	18	月	1	田中	1章 放射線とX線(2) 4)X線の発生 5)X線のエネルギーと量 6)X線と物質との相互作用 7)X線の減弱 (六. I-3-A 九. X-4-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> X線管球の構造を図示し、それぞれの役割を述べる。 距離によるX線の減弱を説明する。 物質によるX線の減弱を説明する。
3	4	25	月	1	田中	2章 放射線の影響 1)生体に対する影響 2)放射線障害の分類 (六. I-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 細胞周期と放射線感受性との関係を説明する。 身体的影響と遺伝的影響の例をあげる。 確率的影響と確定的影響の相違を説明する。
4	5	2	月	1	高橋	3章 歯科用X線撮影装置 1)口内法のX線撮影装置 4章 X線画像の形成 1)X線フィルム 2)X線フィルムの黒さ 3)像の拡大と鮮鋭度 (六. I-3-B 九. X-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科用X線撮影装置について以下の用途・役割を説明する。 ろ過板・絞り・指示用コーン・コントロールボックス・タイマー 口内法と口外法に用いられるX線フィルム、IP、CCDの違いを述べる。 増感紙・カセット・グリッドの役割を述べる。 鮮鋭度に影響する因子を列挙する。
5	5	9	月	1	高橋	5章 撮影法(口内法)(1) 1)口内法撮影の準備 2)口内法の撮影法 3)口内法X線写真のトレース演習 4)平行法・咬翼法・咬合法の実際 (六. I-3-C 九. X-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 口内法撮影の手順を順に述べる。 各種の口内法撮影の概略を説明する。 二等分法によるフィルム位置決めとコーンの位置を説明する。 口内法によるX線像を患者に説明する。 平行法・咬翼法・咬合法の撮影法を述べ、その適応疾患を列挙する。
6	5	23	月	1	高橋	5章 撮影法(口内法)(2) 5)X線照射とその後の注意 6)現像後の写真チェック 7)X線写真と照射録の保管 6章 撮影法(口外法)(1) 1)パノラマX線撮影 2)頭部X線規格撮影 3)その他の口外法 (六. I-3-C 九. X-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> 現像後のX線写真の画質を評価できる。 現像後のX線フィルムを適切に管理できる。 パノラマX線撮影法について述べる。 頭部X線規格撮影法を説明し、用途を述べる。 次の撮影法の概略を述べる。 Waters法、顎関節撮影法

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	到達目標
7	5	30	月	1	星野	6章 撮影法(口外法)(2) 4)CT撮影法 5)パノラマX線像のX線解剖 (p.148.149) 6)パノラマX線写真のトレース練習 (p.148.150) 7)CT・CBCT・MRIのビデオ紹介 (六. I-3-C・D 九. X-2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> CT撮影法の特徴を述べる。 パノラマX線像を患者に説明する。
8	6	6	月	1	星野	6章 撮影法(口外法)(3) 8)MRI 9)超音波検査 10)シンチグラフィ 11)造影検査法 (六. I-3-C~E 九. X-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 次の撮影法の概略と適応について述べる。 MRI、超音波検査、シンチグラフィ、造影検査法
9	6	13	月	1	星野	7章 フィルム処理 1)フィルム処理の流れ 2)フィルム操作・現像の失敗 8章 デジタルX線システム 1)デジタルX線撮影の特徴 2)デジタルX線システムの種類 (六. I-3-C 九. X-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 照射後のX線フィルムの現像処理の方法を説明する。 デジタルX線システムの特徴を述べる。 デジタルX線撮影に使用されるセンサーの特徴を説明する。
10	6	20	月	1	高橋	9章 正常なX線画像 1)口内法X線撮影の正常像 2)パノラマX線撮影の正常像 10章 病変の画像例 1)歯・歯周組織の疾患 2)口内法X線写真のトレース練習 3)顎・顔面領域の疾患	<ul style="list-style-type: none"> 口内法X線撮影の正常解剖像について説明する。 パノラマX線撮影の正常解剖像について説明する。 口腔に生ずる疾患のX線画像所見の概略を述べる。
11	6	27	月	1	泉澤	11章 放射線の防護と管理 1)放射線防護の目的 2)被曝の分類 3)放射線防護体系 4)放射線防護の実際 12章 放射線治療 1)放射線治療とは 2)放射線治療の方法 3)放射線治療の副作用 4)放射線治療患者の口腔管理 (六. IV-2-I 九. X-4-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 放射線防護に関係する以下の用語を説明する。 行為の正当化・防護の最適化・個人の線量制限 患者および術者の放射線防護の実際について説明する。 口腔癌の放射線治療の概略を述べ、副作用を列挙する。 放射線治療患者の口腔管理について概略を述べる。
12 ・ 13 ・ 14 ・ 15	8	25	木	1 5 4	星野 高橋	実 習 1)正常エックス線写真の読影 2)歯科医療センターの施設見学 3)口内法エックス線撮影実習	<ul style="list-style-type: none"> 放射線撮影施設を見学し、これまで習得した知識を確認する。 口内法X線撮影に必要な、フィルム保持と管球との位置を明示できる。
	9	15	木	1	全員	定期試験	

第2学年 う蝕予防処置法

時間数	42時間 (2時間×21回)+ 演習10時間(2時間×5回)
担当者	教員 鳥畑 美香 非常勤講師
一般目標	歯科臨床の現場で歯科衛生士が行う、う蝕予防処置法を習得するために、マネキン実習や学生相互実習において技術を習得する。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」(医歯薬出版株式会社)
参考書	「新フッ化物ではじめるむし歯予防」(医歯薬出版株式会社)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	7	木	1	鳥畑 非常勤講師	第1実習室	フッ化物歯面塗布法 (マネキン実習) 1)フッ化物製剤の 形状と塗布法 2)簡易防湿(6区分) 3)綿球塗布法(溶液) (四.Ⅲ-2-A、3-E 七.Ⅲ-3-A~C)	・フッ化物製剤の種類と塗布法・術式を 習得できる。 ・フッ化物歯面塗布を安全に実施でき る。
2 ・ 3	4	15	金	1 ・ 2	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 1)簡易防湿 2)綿球塗布法(溶液) (四.Ⅲ-2-A、3-E 七.Ⅲ-3-A~C)	・フッ化物歯面塗布を安全に実施でき る。 ・フッ化物塗布後の術後指導ができ る。
4	4	20	水	4	鳥畑	第2講義室	う蝕活動性試験 1)う蝕活動性試験の 検体・因子・評価項目 2)唾液の役割 (四.Ⅰ-4-A、Ⅲ-1-E 七.Ⅲ-2-A~D)	・う蝕活動性試験の検体と因子、評価 項目を説明できる。 ・唾液の役割について理解し説明でき る。
5 ・ 演習	9	27	火	3 ・ 4	鳥畑	第1実習室	う蝕活動性試験 1)う蝕活動性試験の実際 2)う蝕予防プログラム (四.Ⅰ-4-A、Ⅲ-1-E 七.Ⅲ-2-A~D)	・う蝕活動性試験の判定結果からう蝕 予防プログラムの立案方法を理解でき る。
6 ・ 7 ・ 8	9	30	金	1 ・ 3	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	う蝕活動性試験 (学生相互実習) 1)RDテスト 2)口腔内診査 3)う蝕原因菌酸産生能測定 4)唾液分泌量測定 5)唾液緩衝能測定 6)SM・LB菌数 7)プラーク蓄積量測定 8)生活習慣調査 (四.Ⅰ-4-A、Ⅲ-1-E 七.Ⅲ-2-A~D)	・口腔内診査を実施し、DMF合計数 を算出できる。 ・う蝕活動性試験の実施・判定ができ る。 RDテスト カリオスタット 唾液分泌量測定 Dentobuff-SM Dentocult-LB Dentocult-LB PCR測定 食生活調査 フッ化物使用状況調査
9	10	4	火	3	鳥畑	第2講義室	う蝕活動性試験 1)培養結果判定 2)う蝕予防プログラム作成 (四.Ⅰ-4-A、Ⅲ-1-E 七.Ⅲ-2-A~D)	・う蝕活動性試験の判定ができる。 ・う蝕活動性試験の結果を対象者へ説 明できる。 ・う蝕予防プログラムを立案し説明でき る。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
演習	10	4	火	4	鳥畑	第2講義室	う蝕活動性試験 1)培養結果判定 2)う蝕予防プログラム作成 (四.Ⅰ-4-A、Ⅲ-1-E 七.Ⅲ-2-A~D)	・う蝕活動性試験の判定ができる。 ・う蝕活動性試験の結果を対象者へ説明できる。 ・う蝕予防プログラムを立案し説明できる。
10	10	5	水	4	鳥畑	第2講義室	フッ化物応用の安全性 1)悪心嘔吐発現量について 2)急性中毒が生じた時の処置 (四.Ⅲ-3-B・C 七.Ⅲ-1-C、3-C、4-C)	・フッ化物応用時の安全の配慮ができるよう、悪心嘔吐発現フッ化物量を計算できる。 ・急性中毒が生じた時の処置法が説明できる。
11・演習	10	6	木	1・2	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 1)簡易防湿 2)綿球塗布法(ゲル) (四.Ⅲ-2-A、3-E 七.Ⅲ-3-A~C)	・フッ化物歯面塗布を安全に実施できる。 ・フッ化物塗布後の術後指導ができる。
12・13	10	7	金	1・2	鳥畑 非常勤講師	第1実習室	小窩裂溝填塞法 1)小窩裂溝填塞材の種類 2)適応症 3)術式および注意事項 (四.Ⅲ-2-A 七.Ⅲ-5-A~D)	・小窩裂溝填塞材の種類と特徴を説明できる。 ・小窩裂溝填塞法の適応症を説明できる。 ・小窩裂溝填塞法の術式および実施上の注意事項を説明できる。
14・15	10	19	水	2 コマ	鳥畑	第3・4実習室	小窩裂溝填塞法 (マネキン実習) 1)ラバーダム防湿 2)術式と適応時期 3)小窩裂溝填塞 (四.Ⅲ-2-A 七.Ⅲ-5-A~D)	・ラバーダム防湿法の術式、使用器具名と使用方法を理解し適切に実施できる。 ・小窩裂溝填塞を適確に実施できる。 ・フッ化ジアンミン銀の特徴、使用目的、う蝕抑制機構をを理解できる。 ・フッ化ジアンミン銀塗布の術式と適応時期を理解し、正しい取り扱いと説明ができる。
	10	28	金					
	11	4	金					
	11	11	金					
	11	18	金					
	11	24	木					
	1	13	金					
2	10	金						
16・17	10	19	水	2 コマ	鳥畑	第3・4実習室	小窩裂溝填塞法 (学生相互実習) 1)ラバーダム防湿 2)小窩裂溝填塞 (四.Ⅲ-2-A 七.Ⅲ-5-A~D)	・対象歯に対して、術式および器材の使用方法を理解し、適切にラバーダム防湿と小窩裂溝填塞ができる。
	10	28	金					
	11	4	金					
	11	11	金					
	11	18	金					
	11	24	木					
	1	13	金					
2	10	金						
18・19	10	27	木	2 コマ	鳥畑	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 1)イオン導入法 (四.Ⅲ-2-A、3-E 七.Ⅲ-3-A~C)	・フッ化物歯面塗布を安全に実施できる。 ・フッ化物塗布後の術後指導ができる。
	11	18	金					
	11	24	木					
	12	2	金					
	12	7	水					
	1	19	木					
	2	1	水					
2	15	水						

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
20 ・ 21	10	27	木	2 コマ	鳥畑	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 1) トレー法(フォーム) (四. III-2-A、3-E 七. III-3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物歯面塗布を安全に実施できる。 フッ化物塗布後の術後指導ができる。
	11	18	金					
	11	24	木					
	12	2	金					
	12	7	水					
	1	19	木					
	2	1	水					
	2	15	水					
演習	11	1	火	2 コマ	鳥畑	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 1) 歯ブラシ法(ゲル) (四. III-2-A、3-E 七. III-3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物歯面塗布を安全に実施できる。 フッ化物塗布後の術後指導ができる。
	12	2	金					
	1	10	火					
	1	25	水					
	2	1	水					
	2	8	水					
	2	15	水					
	2	21	火					
3	1	水						
	2	27	月	1	鳥畑	第2講義室	定期試験	

第2学年 歯周病予防処置法

時間数	60時間 (2時間×30回)
担当者	教員 太田彩香 非常勤講師
一般目標	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持、増進するために必要な専門的知識、技術および態度を習得する。
成績評価	筆答(90%)と実習態度(10%)により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 ・ 2	4	15	金	3 ・ 4	太田 非常勤講師 2名	第1実習室	キュレットスケーラー／マネキン実習 1) 上下顎前歯部 (七. II-4-A・B)	・マネキン上にて、キュレットスケーラーを操作できる。
3	4	18	月	3	太田 非常勤講師 2名	第1実習室	キュレットスケーラー／マネキン実習 2) 上顎臼歯部 (七. II-4-A・B)	・マネキン上にて、キュレットスケーラーを操作できる。
4	4	25	月	3	太田 非常勤講師 2名	第1実習室	キュレットスケーラー／マネキン実習 3) 下顎臼歯部 (七. II-5-A・B)	・マネキン上にて、キュレットスケーラーを操作できる。
5 ・ 6 ・ 7	6	3	金	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師 3名	第3・4実習室	スケーリング・歯面研磨① (相互実習) 1) 下顎前歯部 (七. II-4-A・B、II-5-A)	・学生相互の口腔内において、超音波スケーラー、エアスケーラー、キュレットスケーラーの操作ができる。 ・歯面清掃、研磨ができる。
8 ・ 9 ・ 10	6	10	金	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師 3名	第3・4実習室	スケーリング・歯面研磨② (相互実習) 1) 上顎前歯部 (七. II-4-A・B、II-5-A)	・学生相互の口腔内において、超音波スケーラー、エアスケーラー、キュレットスケーラーの操作ができる。 ・歯面清掃、研磨ができる。
11 ・ 12 ・ 13	6	14	火	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師 3名	第3・4実習室	スケーリング・歯面研磨③ (相互実習) 1) 下顎臼歯部 (七. II-4-A・B、II-5-A)	・学生相互の口腔内において、超音波スケーラー、エアスケーラー、キュレットスケーラーの操作ができる。 ・歯面清掃、研磨ができる。
14 ・ 15 ・ 16	7	1	金	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師 3名	第3・4実習室	スケーリング・歯面研磨④ (相互実習) 4) 上顎臼歯部 (七. II-4-A・B、II-5-A)	・学生相互の口腔内において、超音波スケーラー、エアスケーラー、キュレットスケーラーの操作ができる。 ・歯面清掃、研磨ができる。
17 ・ 18	8	19	金	1 ・ 2	太田	第2講義室	歯周病の基礎知識 1) 歯周病の原因、進行、予防 2) 歯周病のリスクファクターと評価法 (三. I-14-A、四. IV-1-B、 六. II-3-B・L、七. II-4-C)	・歯周病の原因、進行、予防について説明できる。 ・歯周病のリスクとメインテナンスの必要性を説明できる。
19 ・ 20	8	22	月	3 ・ 4	太田 非常勤講師 2名	第1実習室	スケーリングとルートプレーニングの比較 ／マネキン実習 1) 作業角度 2) ストローク 3) 側方圧 (七. II-4-A・B)	・スケーリングとルートプレーニングの違いを説明でき、マネキン上にてルートプレーニング操作ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
21 ・ 22	10	21	金	2 コマ	太田	第1実習室	手用スケーラーのシャープニング 1) シャープニングの目的 2) 手技方法 3) 操作上の注意点 (七. II-4-C)	・手用スケーラーのシャープニングの目的、手技方法を説明できる。
	10	26	水					
	11	1	火					
	11	10	木					
	11	17	木					
	11	21	月					
	1	12	木					
2	8	水						
23 ・ 24	10	21	金	2 コマ	太田	第3・4実習室	スケーリング・歯面研磨⑤ (相互実習) 1) 全顎 (七. II-4-A・B、II-5-A)	・学生相互の口腔内において、超音波スケーラー、エアスケーラー、キュレットスケーラーの操作ができる。 ・歯面清掃、研磨ができる。
	10	26	水					
	10	31	月					
	11	10	木					
	11	17	木					
	11	21	月					
	1	11	水					
2	7	火						
25 ・ 26	10	26	水	2 コマ	太田	第1実習室	PMTC／マネキン実習 1) 隣接面 2) 唇(頬)舌側面 (四. II-1-B)	・PMTCの概念及び使用器具、操作法を説明できる。 ・マネキン上にて各部位別のPMTC操作ができる。
	11	17	木					
	11	21	月					
	12	1	木					
	12	9	金					
	1	17	火					
	1	31	火					
2	14	火						
27 ・ 28	10	26	水	2 コマ	太田	第3・4実習室	PMTC①／学生相互実習 1) 上顎隣接面 2) 上顎唇(頬)舌側面 (四. II-1-B)	・学生相互の口腔内(上顎)において、PMTC操作ができる。
	11	17	木					
	11	21	月					
	12	1	木					
	12	9	金					
	1	17	火					
	1	31	火					
2	14	火						
29 ・ 30	10	31	月	2 コマ	太田	第3・4実習室	PMTC②／学生相互実習 1) 下顎隣接面 2) 下顎唇(頬)舌側面 (四. II-2-B)	・学生相互の口腔内(下顎)において、PMTC操作ができる。
	12	1	木					
	1	11	水					
	1	25	水					
	1	31	火					
	2	7	火					
	2	14	火					
2	20	月						
2	28	火						
	3	13	月	3	太田	第2講義室	定期試験	

第2学年 口腔保健管理法

時間数	60時間（2時間×30回）
担当者	教務主任 鈴木奈津子 教員 金子由美子
一般目標	口腔の健康管理を行うために歯科予防処置論、歯科保健指導論を総合的にとらえ実践できる知識・態度・技術を身につける。
成績評価	レポートにより評価する
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」（医歯薬出版）
参考書	「よくわかる歯科衛生過程」（医歯薬出版）

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	19	火	3	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 1 1) 歯科衛生過程の概念 (五. I-3-A~F)	・歯科衛生過程の概念を概説できる。
2	4	21	木	4	金子	第2講義室	ライフステージ別対象者把握 1 1) 妊産婦 2) 乳幼児 3) 学童 4) 成人・高齢者 (八. III-3-B)	・各ライフステージにおける、対象者を把握するために必要な情報、ポイントを理解する。
3 ・ 4	4	26	火	3	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 2 1) 歯科衛生アセスメント① (五. I-3-A・B)	・主観的情報と客観的情報を説明できる。
	4	28	木	4				・メディカルインタビューから主観的情報を収集できる。
5 ・ 6	5	6	金	1 ・ 2	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 3 1) 歯科衛生アセスメント② (五. I-3-A・B)	・模擬症例をヒューマンニーズに当てはめることができる。 ・模擬症例から問題点を探り出すことができる。
7 ・ 8	6	13	月	3 ・ 4	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 4 1) 歯科衛生アセスメント③ (五. I-3-A・B)	・模擬症例をヒューマンニーズに当てはめることができる。 ・模擬症例から問題点を探り出すことができる。
9 ・ 10	6	17	金	1 ・ 2	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 5 1) 歯科衛生アセスメント④ (五. I-3-A・B)	・模擬症例をヒューマンニーズに当てはめることができる。 ・模擬症例から問題点を探り出すことができる。
11 ・ 12	6	24	金	1 ・ 2	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 6 1) 歯科衛生アセスメント⑤ (五. I-3-A・B)	・模擬症例をヒューマンニーズに当てはめることができる。 ・模擬症例から問題点を探り出すことができる。
13 ・ 14	6	27	月	3	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 7 1) 歯科衛生診断 (五. I-3-A・B)	・歯科衛生診断の3つのタイプを説明できる。
	6	29	水	4				
15 ・ 16	7	4	月	3	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 8 1) 歯科衛生計画立案 (五. I-3-A・B)	・歯科衛生計画の立案ができる。
	7	12	火	1				
17	7	15	金	4	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 8 1) 歯科衛生介入 ・実施記録の作成 (五. I-3-F)	・POSの段階について説明できる。 ・SOAPを用いて実施記録を作成できる。
18	7	19	火	3	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 9 1) 歯科衛生評価 (五. I-3-C)	・歯科衛生計画の評価ができる。
19 ・ 20	7	20	水	4	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 10 1) 歯科衛生アセスメント ・医療面接の目的と注意点 ・動機づけ面接(OARS) (五. I-3-A・B)	・医療面接の目的と注意点を説明できる。
	7	25	月	3				・動機づけ面接の基本的なスキルを説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
21 ・ 22	9	2	金	4	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 10 1) 歯科衛生アセスメント ・医療面接(相互実習) (五. I - 3 - A・B)	・ 歯科衛生アセスメントを実施することができる。
	9	13	火	3				
23 ・ 24 ・ 25 ・ 26	11	2	水	2 コマ	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 演習 1) 歯科衛生アセスメント 2) 歯科衛生診断 (五. I - 3 - A・B)	・ 模擬患者症例を用いて歯科衛生過程を展開できる。
	11	29	火					
	1	11	水					
	1	26	木					
	2	2	木					
	2	9	木					
	2	16	木					
	2	22	水					
27 ・ 28 ・ 29 ・ 30	11	4	金	2 コマ	鈴木	第2講義室	歯科衛生過程 演習 3) 歯科衛生計画立案 4) 歯科衛生介入 (実施記録の作成) 5) 歯科衛生評価 (五. I - 3 - A・B)	・ 模擬患者症例を用いて歯科衛生過程を展開できる。
	11	30	水					
	1	13	金					
	1	27	金					
	2	3	金					
	2	10	金					
	2	17	金					
	2	24	金					
3	3	金						

第2学年 保健指導法

時間数	60時間 (2時間×30回) + 演習26時間(2時間×13回)
担当者	教 員 佐藤佳奈枝 金子由美子 鳥畑美香
一般目標	ライフステージ毎に多様な生活環境・健康状態にある個人及び集団に対し、最も適切な歯科保健行動がとれるよう、歯科衛生士として専門的な立場から支援できる能力を身につける。
成績評価	筆答で評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版(医歯薬出版) 歯科保健指導関係資料2021年版
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	6	水	3	鳥畑	第2講義室	対象者の情報把握(I) 1) 情報の分析 2) 指導課題の抽出 3) 幼児(幼稚園児)の理解 健康教育・保健指導の技法(I-1) 1) 幼稚園実習オリエンテーション 2) 園児に対する健康教育・保健指導 (四-VII-1-A~F・I・J、3-C 八. III-3-A、V-3-A)	・ 幼児(幼稚園児)を対象とした歯科保健指導臨地実習に先立ち、対象者について理解し指導課題を抽出、内容を説明できる。 ・ 幼稚園保健指導実習の内容を理解し、学生各自の役割について説明できる。
2	4	6	水	4				
3・演習	4	8	金	1・2	鳥畑	第2講義室	健康教育 1) 健康教育の概要 2) 集団指導法 (四. VII-1-A~J、3-C 八. I-1-A、2-A~D III-3-A、V-3)	・ 地域歯科保健における健康教育の概要を理解できる。 ・ 集団指導における歯科保健指導の方法と実際を理解できる。
4	4	8	金	3	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(I-2) 1) 指導案の作成(集団指導) 2) 教育媒体の作成 3) 教育媒体の利用法 (四. VII-1-A~J、3-C 八. I-1-A、2-A~D III-3-A、V-3)	・ 幼稚園保健指導実習の指導案を作成することができる。また、集団指導に使用する教育媒体を作成し、効果的使用法を具体的に述べるができる。
5	4	8	金	4	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(I-3) 1) 指導案の作成(集団指導) 2) 教育媒体の作成 (四. VII-1-A~J、3-C 八. I-1-A、2-A~D III-3-A、V-3)	・ 集団指導に使用する教育媒体を作成し、効果的使用法を具体的に述べることができる。
6	4	11	月	3	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(I-4) 1) 指導案の作成(集団指導) 2) 教育媒体の作成 (四. VII-1-A~J、3-C 八. I-1-A、2-A~D III-3-A、V-3)	・ 集団指導に使用する教育媒体を作成し、効果的使用法を具体的に述べることができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	4	12	火	1	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅰ-5) 1)教育媒体の作成 2)想定演習(個人指導) (四.Ⅶ-1-A~J、3-C 八.Ⅰ-1-A、2-A~D Ⅲ-3-A、V-3)	・幼稚園実習における個人指導の内容をシミュレートすることができる。
演習	4	14	木	1・2	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅰ-6) 1)想定演習(集団指導・個人指導) (四.Ⅶ-1-A~J、3-C 八.Ⅰ-1-A、2-A~D Ⅲ-3-A、V-3)	・幼稚園実習における集団指導・個人指導の内容をシミュレートすることができる。
演習	4	21	木	1・2	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅰ-7) 1)想定演習(集団指導・個人指導) (四.Ⅶ-1-A~J、3-C 八.Ⅰ-1-A、2-A~D Ⅲ-3-A、V-3)	・幼稚園実習における集団指導・個人指導の内容をシミュレートすることができる。
演習	4	28	木	1・2	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅰ-8) 1)想定演習(集団指導) (四.Ⅶ-1-A~J、3-C 八.Ⅰ-1-A、2-A~D Ⅲ-3-A、V-3)	・幼稚園実習における集団指導の内容をシミュレートすることができる。
8・演	5	2	月	2・3	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅰ-9) 1)想定演習(集団指導・個人指導) (四.Ⅶ-1-A~J、3-C 八.Ⅰ-1-A、2-A~D Ⅲ-3-A、V-3)	・幼稚園実習における集団指導・個人指導の内容をシミュレートすることができる。
9・10	5	6	金	3・4	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅰ-10) 1)想定演習(集団指導・個人指導) (四.Ⅶ-1-A~J、3-C 八.Ⅰ-1-A、2-A~D Ⅲ-3-A、V-3)	・幼稚園実習における集団指導・個人指導の内容をシミュレートすることができる。
演習	5	9	月	2・3	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅰ-11) 1)想定演習(集団指導) (四.Ⅶ-1-A~J、3-C 八.Ⅰ-1-A、2-A~D Ⅲ-3-A、V-3)	・幼稚園実習における集団指導の内容をシミュレートすることができる。
11・12	5	10	火	3・4	鳥畑	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅰ-12) 1)幼稚園実習準備 2)想定演習(集団指導・個人指導) (四.Ⅶ-1-A~J、3-C 八.Ⅰ-1-A、2-A~D Ⅲ-3-A、V-3)	・幼稚園実習における集団指導・個人指導の内容をシミュレートすることができる。
13・演習	5	19	木	1・2	鳥畑	第2講義室	対象者の情報把握(Ⅰ-2) (幼稚園実習 実習報告) 1)実習報告 2)自己評価 (四.Ⅶ-1-A~J、3-C 八.Ⅰ-1-A、2-A~D Ⅲ-3-A、V-3)	・実習で学んだことを振り返り、その成果を発表することにより他学生との学びを共有できる。 ・各自の指導の評価ができる。
14	5	19	木	4	佐藤	第2講義室	対象者の情報把握(Ⅱ) 1)情報の分析 2)指導課題の抽出 3)小学校児童の理解 (五.Ⅰ-3-A~C、 八.Ⅰ-1-A・B、Ⅱ-1-B、 2-A~C、Ⅱ-2-A)	・小学校児童を対象とした歯科保健指導臨地実習に先立ち、指導課題を抽出し、対象者について理解した内容を説明できる。
15	5	20	金	4	佐藤	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅱ-1) 1)小学校実習オリエンテーション 2)児童に対する健康教育・保健指導 3)指導案の作成(1~6年生) (八.Ⅱ-1-B)	・小学校保健指導実習の内容と、学生各自の役割について説明できる。 ・小学校保健指導実習における個人指導、指導案を作成することができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
16	5	23	月	2	佐藤	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅱ-2) 1)教育媒体の作成 2)教育媒体の利用法 (八.Ⅲ-2-A・B、) Ⅶ-1-B、2-B)	・集団指導に使用する教育媒体を作成し、効果的使用法を具体的に述べるができる。
17	5	23	月	3	佐藤	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅱ-3) 1)小学校実習準備 2)想定演習 (八.Ⅲ-2-A・B、) Ⅶ-1-B、2-B)	・小学校実習における集団指導の内容をシミュレートすることができる。
演習	5	26	木	1	佐藤	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅱ-4) 1)小学校実習準備 2)想定演習 (八.Ⅲ-2-A・B、) Ⅶ-1-B、2-B)	・小学校実習における集団指導の内容をシミュレートすることができる。
18	5	26	木	2	佐藤	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅱ-5) 1)小学校実習準備 2)想定演習 (八.Ⅲ-2-A・B、) Ⅶ-1-B、2-B)	・小学校実習における集団指導の内容をシミュレートすることができる。
19	5	30	月	2	佐藤	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅱ-6) 1)小学校実習準備 2)想定演習 (八.Ⅲ-2-A・B、) Ⅶ-1-B、2-B)	・小学校実習における集団指導の内容をシミュレートすることができる。
20	5	30	月	3	佐藤	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅱ-7) 1)小学校実習準備 2)想定演習 (八.Ⅲ-2-A・B、) Ⅶ-1-B、2-B)	・小学校実習における集団指導の内容をシミュレートすることができる。
21 ・ 22	6	2	木	1 ・ 2	佐藤	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅱ-8) 1)小学校実習準備 2)想定演習 (八.Ⅲ-2-A・B、) Ⅶ-1-B、2-B)	・小学校実習における集団指導の内容をシミュレートすることができる。
23	6	9	木	1	佐藤	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅱ-9) 1)小学校実習準備 2)想定演習(担当学年毎) (八.Ⅲ-2-A・B、) Ⅶ-1-B、2-B)	・小学校実習(1~6年)における集団指導の内容をシミュレートすることができる。
演習	6	20	月	3 ・ 4	佐藤	第2講義室	健康教育・保健指導の技法 (Ⅱ-10) 1)小学校実習準備 2)想定演習(全体リハーサル) (八.Ⅲ-2-A・B、) Ⅶ-1-B、2-B)	・小学校実習(1~6年)における集団指導の内容をシミュレートすることができる。
24	6	23	木	4	佐藤	第2講義室	対象者の情報把握(Ⅱ-2) (小学校実習実施後) 1)児童ワークシートからの情報整理 2)実習報告の準備 3)反省点のまとめ 4)次年度への引継ぎ事項まとめ (五.Ⅰ-3-E・F 八.Ⅰ-1-A・B、Ⅶ-1-B)	・児童のワークシートから情報を収集し、整理することができる。 ・実習報告会に向けた班ごとの発表準備ができる。
25	7	4	月	1	佐藤	第2講義室	対象者の情報把握(Ⅱ-3) (小学校実習 実習報告会) 1)実習報告 2)自己評価 (八.Ⅰ-1-B・C)	・実習で学んだことを振り返り、その成果を発表することにより他学生との学びを共有できる。 ・各自の指導の評価ができる。
26	7	21	木	4	金子	第2講義室	対象者の情報把握(Ⅲ) 1)情報の分析 2)指導課題の抽出 3)作業療法士学生の理解 (八.Ⅴ-4-A)	・岩手リハビリテーション学院における作業療法士学生を対象とした歯科保健指導臨地実習に先立ち指導課題を抽出できる。 ・対象者について理解できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
27	8	24	水	4	金子	第2講義室	健康教育・保健指導の技法(Ⅲ-1) 1) 作業療法士学生との交換実習オリエンテーション 2) 成人に対する歯科保健指導 3) 作業療法士学生に対する口腔ケア指導 (Ⅷ. I-2-A~D、II-3-A Ⅲ-2-A~E、V-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 岩手リハビリテーション学院における作業療法士学生と歯科衛生士学生との交換実習の内容を理解できる。 学生各自の役割について説明できる。 ライフステージにあった歯科保健指導の内容を説明できる。 他職種に対する指導を理解できる。
28・29	8	26	金	1・2	金子	第2実習室	健康教育・保健指導の技法 (Ⅲ-2・3) 1) 作業療法士学生との交換実習 想定演習①(成人歯科保健指導) (Ⅷ. I-2-A~D、II-3-A Ⅲ-2-A~E、V-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 岩手リハビリテーション学院における作業療法士との交換実習の内容をシミュレートすることができる。
30	10	24	月	4	金子	第2講義室	対象者の情報把握(Ⅲ-2) (作業療法士学生との交換実習実施後・実習報告会) 1) 実習報告 2) 自己評価 (Ⅴ. I-2-D、V-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 当日使用した質問紙票と口腔チャートをもとに実習の記録を行いまとめることができる。 実習終了後の学生各自の学びについて報告しあう。 各自の指導の評価ができる。
	12	14	水	3	鳥畑	第2講義室	定期試験	
演習	10	31	月	2 コマ	金子	第3実習室	口腔清掃方法 1) ブラッシング方法① (Ⅳ. II-5A、Ⅷ. III-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> 各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 ブラッシング方法の選択と指導法について説明できる。 各種ブラッシング方法を実施できる。
	12	2	金					
	1	10	火					
	1	24	火					
	1	31	火					
	2	7	火					
	2	14	火					
	2	20	月					
2	28	火						

第2学年 訪問歯科保健指導法

時間数	60時間 (2時間×30回)
担当者	医療法人大樹会小笠原歯科クリニック 院長 小笠原洋人 医療法人大樹会小笠原歯科クリニック 歯科衛生士 中村真知子 医療法人大樹会小笠原歯科クリニック 歯科衛生士 外川実空 教員 金子由美子 非常勤講師
一般目標	訪問歯科保健指導の位置づけと現状を理解し、口腔健康管理を適切に行うための能力を習得する。
成績評価	筆答で評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「高齢者歯科第2版」(医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論第2版」(医歯薬出版株式会社)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	11	月	2	金子	第2講義室	歯科訪問診療における対応 (六. VII-4-A、 九. VIII-1-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科訪問の診療補助の概要を説明できる。 ・ 歯科訪問診療の流れを説明できる。 ・ 口腔清掃に用いる主な用具を説明できる。
2	4	18	月	2	金子	第2講義室	在宅看護の基礎知識 1 (六. VII-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の在宅看護の基礎知識を理解できる。
3	4	25	月	2	金子	第2講義室	在宅看護の基礎知識 2 (六. VII-2-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の在宅看護の基礎知識を理解できる。
4	4	26	火	1	金子	第2講義室	口腔衛生管理の基本 1) 口腔衛生管理の重要性 2) 口腔アセスメント (四. VII-6-A・B、六. VIII-5-B、 八. III-3-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔健康管理について説明できる。 ・ 歯科衛生士の役割について説明できる。 ・ 口腔清掃の自立度について説明できる。 ・ 口腔アセスメントについて説明できる。
5	5	10	火	1	金子	第2講義室	介護保険制度における口腔機能向上 1) 介護保険における歯科衛生士 2) 口腔機能向上プログラム (四. VII-6-A・B、VIII-8-A・B、11 -A~F、IX-2-H、六. VII. 1-A・ B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険における歯科衛生士の役割について説明できる。 ・ 口腔機能向上プログラムについて説明できる。
6	5	20	金	3	金子	第2講義室	リスクマネジメント 1) 安全・安楽の確保 2) 感染対策 (四. VIII-5-A~C、五. I-5-B -A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策について説明できる。 ・ 患者の安全と安楽について説明できる。 ・ 誤嚥性肺炎について説明できる。 ・ 口腔咽頭吸引について説明できる。
7	5	24	火	1	金子	第2講義室	口腔機能低下症 (八. IV-3-A~C、VI-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔機能低下症について説明できる。
8	5	27	金	4	金子	第2講義室	施設・在宅における口腔健康管理 1) 通院困難者 2) 地域連携 (四. VIII-8-A・B、五. I-6-B、 五. I-6-B、六. -4-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通院困難者について説明できる。 ・ 施設・在宅における口腔衛生管理について説明できる。 ・ 地域連携について説明できる。 ・ 多職種連携について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	5	31	火	1	金子	第2講義室	高齢者の栄養 1) 高齢者の食事・食品 2) 食事支援のための観察 (六. VII-4-D、VIII-4-B・C・E・H、八. IV-1-A、IV-2-A~D、IV-3-A~C、VI-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に起こりやすい栄養(食事)の問題点について理解できる。 高齢者のための食事支援について説明できる。 食事支援のための観察のポイントを説明できる。
10 ・ 11	7	14	木	1 ・ 2	金子	第2講義室	食事介助 1) 安全な食事介助 2) 食事の基本姿勢 3) 口腔衛生管理 (五. I-5-B、六. VII-4-D、VIII-4-B・C・E・G・H、八. IV-3-A~C、VI-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のための食事支援について説明できる。 食事介助を実技として行うことができる。 食事の基本姿勢について説明できる。 口腔衛生管理を実技として行うことができる。 口腔衛生管理に必要な使用日物品を準備できる。
12	7	19	火	1	金子	第2講義室	演習講義③ 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙する。 学習方法を説明できる。 理解した項目を身に付ける。
13 ・ 14	8	18	木	1 ・ 2	金子 非常勤講師	第3・4 実習室	口腔健康管理の実践 1 (六. VII-3-A・B、VIII-2-B・) 八. III-2-A~D、3-B)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎実習 心疾患患者について理解できる。 口腔の特徴を理解し口腔衛生管理を実技として行うことができる。 適切な口腔ケアの指導ができる。
15 ・ 16	8	19	金	3 ・ 4	金子 非常勤講師	第3・4 実習室	口腔健康管理の実践 2 (六. VII-3-A・B、 八. VI-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎実習 糖尿病患者について理解できる。 口腔の特徴を理解し口腔衛生管理を実技として行うことができる。 適切な口腔ケアの指導ができる。
17 ・ 18	8	23	火	3 ・ 4	金子 非常勤講師	第3・4 実習室	口腔健康管理の実践 3 (六. VII-3-A・B、 八. VI-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎実習 脳血管疾患について理解できる。 口腔の特徴を理解し口腔衛生管理を実技として行うことができる。 適切な口腔ケアの指導ができる。
19	8	24	水	2	金子	第2講義室	口腔のケア・マネジメント (八. I-1-B・C) 六. VII-3-B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔のアセスメントができる。 口腔のケアプランを作成できる。 実施記録について説明できる。
20 ・ 21	8	26	金	3 ・ 4	金子	第1実習室	健康教育・保健指導の技法 (III-2・3) 1) 作業療法士学生との交換実習 想定演習②(成人歯科保健指導) (八. I-2-A~D、II-3-A III-2-A~E、V-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 岩手リハビリテーション学院における作業療法士学生との交換実習の内容をシミュレートすることができる。
22 ・ 23	8	30	火	3 ・ 4	金子	第1実習室	健康教育・保健指導の技法 (III-2・3) 1) 作業療法士学生との交換実習 想定演習③(口腔ケア) (八. I-2-A~D、II-3-A III-2-A~E、V-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 岩手リハビリテーション学院における作業療法士学生との交換実習の内容をシミュレートすることができる。
24 ・ 25	8	31	水	1 ・ 2	金子	第1実習室	健康教育・保健指導の技法 (III-2・3) 1) 作業療法士学生との交換実習 想定演習④(口腔ケア) (八. I-2-A~D、II-3-A III-2-A~E、V-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 岩手リハビリテーション学院における作業療法士学生との交換実習の内容をシミュレートすることができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
26・27・28	9	1	木	1・2・3	金子	第2講義室	健康教育・保健指導の技法 (Ⅲ-2・3) 1) 作業療法士学生との交換実習 想定演習⑤(総合演習) (Ⅷ. I-2-A~D、II-3-A Ⅲ-2-A~E、V-4-A)	・ 岩手リハビリテーション学院における作業療法士学生との交換実習の内容をシミュレートすることができる。
演習	9	2	金	1・2・3	金子	第2講義室	健康教育・保健指導の技法 (Ⅲ-2・3) 1) 作業療法士学生との交換実習 想定演習⑥(総合演習) (Ⅷ. I-2-A~D、II-3-A Ⅲ-2-A~E、V-4-A)	・ 岩手リハビリテーション学院における作業療法士学生との交換実習の内容をシミュレートすることができる。
29	9	8	木	1	小笠原	第2講義室	歯科介護予防 在宅医療 (Ⅵ. VII-3-A~E、4-A~C、5-A~B)	・ 高齢者の気道感染予防と歯科のかかわりについて説明できる。 ・ 気道感染予防の実際について説明できる。 ・ 在宅医療を遂行する上での基本的な考え方を習得できる。
30	9	8	木	2	小笠原 歯 科衛生士	第2講義室	在宅での訪問歯科診療 1) 訪問歯科診療補助について 2) 訪問歯科診療の実際 (Ⅸ. VIII-1-A~C)	・ 在宅の限られた条件のもとで、訪問の場に応じた歯科診療の補助ができる。 ・ 訪問歯科保健指導の留意点について説明できる。
	12	14	水	1	金子	第2講義室	定期試験	
演習	10	20	木	2 コマ	金子	介護実習室	口腔ケアの実践 4	・ 基礎実習 ・ バイタルサインの確認ができる ・ 口腔の特徴を理解し口腔衛生管理を実技として行うことができる。 (Ⅵ. VII-3-A・B、VIII-2-B・) Ⅷ. III-2-A~D、3-B)
	10	25	火					
	11	2	水					
	11	9	水					
	11	16	水					
	11	25	金					
	1	10	火					
演習	10	20	木	2 コマ	金子	介護実習室	口腔ケアの実践 5	・ 基礎実習 ・ スクリーニングテストについて説明できる ・ スクリーニングテストを実技として行うことができる (Ⅵ. VII-3-A・B、 Ⅷ. VI-3-A)
	10	25	火					
	11	2	水					
	11	9	水					
	11	16	水					
	11	25	金					
	1	11	火					
2	9	木						

第2学年 栄養指導法

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	歯学部 口腔保健育成学講座(小児歯科学・障害者歯科学分野) 准教授 久慈昭慶 歯学部 口腔保健育成学講座(小児歯科学・障害者歯科学分野) 准教授 熊谷美保 歯学部 口腔保健育成学講座(小児歯科学・障害者歯科学分野) 講師 菊池和子 歯学部 補綴・インプラント学講座(摂食嚥下・口腔リハビリテーション分野) 教授 小林琢也 教員 金子由美子
一般目標	口から食べる機能に障害が生じた人に対し、摂食嚥下能力の回復を目的として、口腔ケアの専門的立場から指導・援助ができる能力を身につける。
成績評価	出席(20%)、筆記試験の成績(80%)で総合評価する。
教科書	「食べる機能の障害」(医歯薬出版) 「はじめて学ぶ 歯科衛生士のための歯科介護 第2版」(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」第2版(医歯薬出版)
参考書	「動画でわかる摂食・嚥下リハビリテーション」(中山書店)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	5	23	月	4	久慈	摂食嚥下リハビリテーション総論 (二. II-2-E 四. I-2-B 六. VIII-4-A) 摂食嚥下障害の概念 (六. VII-5-A 八. II-3-B)	<ul style="list-style-type: none"> 摂食という用語を説明できる。 嚥下という用語を説明できる。 摂食の5期を説明できる。
2	5	30	月	4	久慈	摂食嚥下機能に関する解剖 (二. I-1-F・H、3-B II- 2-E)	<ul style="list-style-type: none"> 顔面・口腔・咽頭の成り立ちが説明できる。 嚥下に関与する筋肉の位置と作用が説明できる。 嚥下に関与する筋肉の神経支配が説明できる。
3	6	6	月	4	菊池	摂食嚥下機能の発達 (六. VI-1-B 八. IV-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 食べる行動と機能の発達過程について各期ごとに概要を説明できる。
4	6	27	月	4	菊池	摂食嚥下に関する生理 (二. II-2-C・E 八. II-3-B)	<ul style="list-style-type: none"> 摂食の5期を説明できる。 嚥下反射を説明できる。 摂食機能に関わる唾液の作用について説明できる。 摂食嚥下機能の老化を説明できる。
5	7	4	月	4	熊谷	摂食嚥下障害の病態・原因 (六. VII-5-C 八. II-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> 器質的嚥下障害の原因と概要を説明できる。 機能的嚥下障害の原因と概要を説明できる。 誤嚥について説明できる。 誤嚥性肺炎について説明できる。
6	8	22	月	1	小林	摂食嚥下障害の評価 (六. I-4-C、VII-5-B VIII -4-G)	<ul style="list-style-type: none"> 摂食嚥下障害の評価について説明できる。 スクリーニングテストと精密検査について説明できる。

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	8	29	月	1	小林	摂食嚥下障害の対応 (六. VII-5-B・C 八. IV-1-C 九. VIII-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 摂食嚥下障害の対応を説明できる。 口腔ケアの重要性を説明できる。 PAPとPLPについて説明できる。
8	8	29	月	4	熊谷	発達障害児・者に対する対応 1 (六. VIII-4-F・G 九. IX-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 間接訓練法の内容と方法を理解し、実技として行うことができる。 (姿勢、鼻呼吸、脱感作、 歯肉マッサージ、バンゲード法)
9	9	5	月	4	熊谷	発達障害児・者に対する対応 2 (六. VIII-4-D・F・G 九. IX-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 直接訓練法の内容と方法を理解し、実技として行うことができる。 (嚥下訓練、捕食訓練、咀嚼訓練、 水分摂取訓練、自食訓練)
10	9	8	木	3	金子	口腔機能管理 1 (六. VII-5-A 八. IV-1-B、2-A、3-B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔機能の現状を把握するための評価ができる。 スクリーニングテストを実技として行うことができる。
11	9	8	木	4	金子	口腔機能管理 2 (九. VIII-1-E)	<ul style="list-style-type: none"> 現状を把握するための評価ができる。 嚥下障害・構音障害を説明できる。 口腔・顔面の観察ができる。
12	9	12	月	2	金子	摂食嚥下リハビリテーション 1 (六. VII-5-A 八. IV-1-E、3-A 九. VIII-1-E)	<ul style="list-style-type: none"> 間接訓練を実技として行うことができる。
13	9	13	火	1	金子	摂食嚥下リハビリテーション 2 (八. IV-1-E 九. VIII-1-E)	<ul style="list-style-type: none"> 直接訓練を実技として行うことができる。
14	9	13	火	4	金子	高齢者の栄養 (八. V-2-A・B 九. VIII-1-E)	<ul style="list-style-type: none"> 栄養状態の評価ができる。 栄養法について説明できる。
	9	15	木	3	久慈 熊谷 菊池 小林	定期試験	
15・ 演習	10	25	火	2 コマ	金子	摂食嚥下リハビリテーション 3 (六. VII-5-A 八. IV-1-E、3-A 九. VIII-1-E)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎実習 バイタルサインの確認ができる 口腔健康管理を実技として行うことができる
	11	15	火				
	11	22	火				
	11	29	火				
	12	6	火				
	1	18	水				
	2	2	木				
演習	10	25	火	2 コマ	金子	摂食嚥下リハビリテーション 4 知識の定着 (六. VII-5-A 八. IV-1-E、3-A 九. VIII-1-E)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎実習 直接訓練・間接訓練について説明できる 直接訓練・間接訓練を実技として行うことができる
	11	15	火				
	11	22	火				
	11	29	火				
	12	6	火				
	1	18	水				
	2	2	木				
2	16	木					

第2学年 歯科診療補助法

時間数	50時間 (2時間×25回)
担当者	教員 佐藤 佳奈枝 教務主任 鈴木奈津子 非常勤講師
一般目標	歯科医療の現場における共同動作ができるよう、各診療の術式に沿った器材の準備と取り扱いの知識と、実践的な技術を習得する。
成績評価	筆答90点、授業・実習態度(身嗜み、提出物含む)10点により総合的に評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論第2版」(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本「歯科機器」(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本「歯科材料」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1・演	6	16	木	1・2	佐藤	第1実習室	歯冠修復 1 1) 直接修復 2) 間接修復 (六. II-1-C・D 九. III-3-A、4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 歯冠修復治療の特徴を説明できる。 直接・間接修復の手順を説明できる。 インレー修復に使用する器材の名称と用途を説明できる。 使用器具や材料の名称と用途を説明し取り扱いができる。
2・3	6	23	木	1・2	鈴木	第1実習室	矯正歯科治療時の診療補助 1 1) 使用器具・器材 2) 歯科衛生士の役割 (六. V-3-A~C 九. VI-1-A、3-A~F 4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 治療時に必要な器材の名称と用途を説明し、準備ができる。
4・5	6	30	木	1・2	佐藤 非常勤講師	第1・4 実習室	小児歯科治療時の診療補助 1) 小児患者の対応 2) 抑制具 3) 小児歯科治療の術式と使用器材 (九. VII-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 各種治療の手順を説明できる。 治療時に必要な薬剤や器材の名称と用途を説明し、準備ができる。 小児の対応法について説明できる。 抑制具の目的を理解し適切な操作ができる。
6・7・8	7	8	金	1・2・3	佐藤 非常勤講師	第1実習室	口腔外科治療時の診療補助 1) 使用器具、器材 2) 歯科衛生士の役割 3) 術後説明 (九. V-1-A・B、2-A、 3-A・B、4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 各種抜歯、小手術の手順を説明できる。 各種抜歯、小手術に用いる器材の名称と用途を説明し、準備ができる。 術後の説明ができる。
9・10	7	21	木	1・2	佐藤 非常勤講師	第1実習室	歯内療法時の診療補助 1 1) 麻酔抜髄の術式・使用器材 2) 根管充填の術式・使用器材 (六. II-2-E~H 九. III-6・7)	<ul style="list-style-type: none"> 歯髄処置の手順および薬剤や器材の取り扱いを説明し準備ができる。 根管処置や根管充填の手順および薬剤、器材の取り扱いを説明し準備ができる。
11	8	23	火	1	佐藤	第1実習室	歯内療法時の診療補助 2 1) 歯髄保存療法の概要 2) 外科的歯内療法の概要 (六. II-2-D・I・J 九. III-6・8)	<ul style="list-style-type: none"> 歯髄消炎療法、覆髄法の概要、適応症、術式、使用薬剤を説明できる。 外科的歯内療法の概要を説明できる。
12・13・14	9	14	水	1・2・3	佐藤 非常勤講師	第1・2実習室	補綴治療時の診療補助 1 (クラウン・ブリッジ) 1) 使用器具、器材 2) 歯肉排除法 3) 精密印象採得法 4) 術後の患者指導 (九. II-3-A、III-1-A IV-1-A、2-A、5-B)	<ul style="list-style-type: none"> 各種検査、印象採得、咬合採得の手順および使用器材の名称と用途を説明し準備ができる。 クラウン・ブリッジ合着時に用いる器材の名称と用途を説明し準備ができる。 歯肉排除法と手順について説明できる。 術後の患者指導を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
15・16	9	28	水	1・2	佐藤 非常勤講師	第2実習室	補綴治療時の診療補助 2 (有床義歯) 1) 使用器具・器材 2) 術後の患者指導 (六. III-1-D 九. II-3-A、IV-1-A、 2-A、5-A)	<ul style="list-style-type: none"> 各種検査、印象採得、咬合採得の手順および使用器材の名称と用途を説明し準備ができる。 床義歯装着時に用いる器材の名称と用途を説明し準備ができる。 術後の患者指導を説明できる。
17・18	10	5	水	1・2	佐藤 非常勤講師	第1実習室	歯周外科治療の診療補助 1) 使用器具・器材・薬剤 2) 歯科衛生士の役割 (九. III-9-A、六. II-3-H) 歯周パットの取り扱い 1) 使用器具、器材、薬剤 2) 歯科衛生士の役割 (九. III-9-B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周外科治療の手順および薬剤や器具の取り扱いを説明し準備ができる。 術後の患者への説明ができる。 歯周パットの目的を理解し、取り扱いができる。
19・20	10	18	火	2コマ	佐藤	第1実習室	ラバーダム防湿 1 (マネキン実習) 1) 使用器材の名称 2) 使用目的と操作方法 3) 部位別、ラバーダム防湿 4) 多数歯ラバーダム防湿 5) 無翼型クランプによる装着 (九. III-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ラバーダム防湿の目的と器具の用途について説明できる。 ラバーダム防湿を実施できる。
	10	27	木					
	10	31	月					
	11	8	火					
	11	15	火					
	11	22	火					
	1	10	火					
21・22	10	18	火	2コマ	佐藤	第4実習室	ラバーダム防湿 2 (学生相互実習) 1) ラバーダム防湿 (九. III-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 対象歯に対して適切な器具を選択し、口腔内の状況に合わせてラバーダム防湿を実施できる。
	10	27	木					
	11	1	火					
	11	8	火					
	11	15	火					
	11	22	火					
	1	12	木					
23・24	10	28	金	2コマ	佐藤	第4実習室	歯冠修復 2 (マネキン実習) 1) 歯肉圧排・隔壁 2) コンポジットレジン修復 3) グラスアイオノマーセメント修復 (六. II-1-D 九. II-4-B、III-1・3-A)	<ul style="list-style-type: none"> コンポジットレジン修復の手順に沿って、器材の準備ができる。 グラスアイオノマーセメント修復の手順に沿って、器材の準備ができる。 使用器具や材料の名称と用途を説明し、取り扱いができる。
	11	16	水					
	11	25	金					
	11	30	水					
	12	8	木					
	1	20	金					
	2	3	金					
25・演習	10	28	金	2コマ	佐藤	技工実習室	修復物の研磨(マネキン実習) 1) 研磨の目的 2) 修復物の研磨 (九. III-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げ研磨の目的、用具を理解し、適確な研磨ができる。
	11	16	水					
	11	25	金					
	11	30	水					
	12	8	木					
	1	20	金					
	2	3	金					
演習	11	1	火	2コマ	佐藤	基礎実習室 (技工)	プロビジョナルレストレーション作製 1) 各種作製法(直接法・間接法) 2) 既製冠を用いたテンポラリークラウンの作製 (九. IV-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 既製冠を使用した前歯部プロビジョナルレストレーションの作製手順、使用器具、材料を学び、作製ができる。
	12	1	木					
	1	12	木					
	1	24	火					
	2	1	水					
	2	8	水					
	2	15	水					
	2	27	月	2	佐藤 鈴木	第2講義室	定期試験	

第2学年 インプラント歯科診療補助法

時間数	45時間 (2時間×23回)
担当者	歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 高藤恭子 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 福德暁宏 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 野尻俊樹 歯学部 補綴・インプラント学講座 非常勤講師 西郷慶悦 歯科医療センター 歯科衛生士 高橋 奈美 教務主任 鈴木奈津子 教員 佐藤佳奈枝 太田彩香
一般目標	口腔インプラントにおける円滑な診療補助と適切な口腔内操作をおこなうために、インプラントの基本的知識、歯科衛生士の担う役割について習得する。術式に関しては、ブローネマルクシステムについてとりあげる。
成績評価	筆記試験で評価する。
教科書	歯科衛生士のためのインプラントメンテナンス(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	7	木	3	西郷	第2講義室	インプラントの概要 1) インプラントとは 2) インプラントの基本構造 3) インプラント治療の流れ (六. Ⅲ-1-B, 6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> インプラントとは何か説明できる。 インプラントの基本構造を説明できる。 インプラント治療の流れを説明できる。
2	4	13	水	3	高藤	第2講義室	最新の治療システム (六. Ⅲ-1-B, 6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> CAD/CAMや光学印象採得など、最新の治療機器を応用したインプラント治療について説明できる。
3	4	20	水	3	高藤	第2講義室	インプラント治療の実際 1 1) 検査・診断 2) 治療計画 3) インフォームドコンセント (六. Ⅲ-1-B, 6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 検査、検査項目について説明できる。 インフォームドコンセントの重要性と注意すべきポイントについて説明できる。
4	4	27	水	3	高藤	第2講義室	インプラント治療の実際 2 1) 術前処置 インプラント治療の適応症と禁忌症 1) 口腔内条件 2) 全身疾患との関係 インプラント治療の実際 3 1) 手術前後の患者管理 (六. Ⅲ-1-B, 6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> インプラント治療を開始するにあたり必要な外科、保存、補綴処置、サージカルステントについて説明できる。 インプラント治療をおこなう上での口腔内の条件と、内科系・循環器系疾患などの全身疾患との関係について説明できる。 手術前の禁煙指導、食事指導、当日、術後の食事指導について説明できる。
5	5	18	水	3	福德	第2講義室	インプラント治療の実際 4 1) 外科手術(一次) 2) 外科手術(二次) (六. Ⅲ-1-B, 6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 一次手術の術式と使用器具、術中の注意事項について説明できる。 二次手術の術式と使用器具、術中の注意事項について説明できる。
6	5	25	水	3	福德	第2講義室	インプラント治療の実際 5 1) 外科手術(一次) 2) 外科手術(二次) (六. Ⅲ-1-B, 6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 一次手術の術式と使用器具、術中の注意事項について説明できる。 二次手術の術式と使用器具、術中の注意事項について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	6	1	水	3	野尻	第2講義室	インプラント治療の実際 6 1) 補綴処置 (六. III-1-B, 6-A・B)	・補綴処置の術式と使用器具、一般的な補綴処置との違いについて説明できる。
8	6	8	水	3	野尻	第2講義室	インプラント治療の実際 8 1) 定期検査 2) メンテナンス 3) 偶発症 (六. III-1-B, 6-A・B)	・インプラント治療における定期検査、メンテナンスの重要性を理解し、検査項目、インプラント部のメンテナンス時の注意事項について説明できる。インプラント治療の偶発症について説明できる。
9	6	9	木	4	歯科医療センター 歯科衛生士	第2講義室	インプラント治療と歯科衛生士 1) 患者管理 2) 診療補助と材料管理 (六. III-1-B, 6-A・B)	・チーム医療の一員として、歯科衛生士が担う役割の概要について説明できる。
10	6	14	木	4	歯科医療センター 歯科衛生士	第2講義室	手術の準備 1 1) 手術室の管理 2) 器具、器材の準備と管理 3) 手術前の口腔内清掃 (六. III-1-B, 6-A・B)	・診療室の準備について説明できる。 ・手術前の器具の準備、手術中の滅菌の準備について説明できる。 ・手術当日に行う口腔内清掃について説明できる。
11	6	28	火	3	歯科医療センター 歯科衛生士	第2講義室	インプラント治療の実際 9 1) 歯科衛生士の症例 (六. III-1-B, 6-A・B)	・実際の症例からインプラント治療における歯科衛生士の役割を理解できる。
12 ・ 13 ・ 14	7	15	金	1 ・ 2 ・ 3	佐藤(佳) 非常勤講師	第2・3・4 実習室 実験室	補綴処置 1 1) 精密印象採得 (寒天・アルジネート印象材) 2) 対合歯印象採得 3) 咬合採得 4) 石膏模型作製 (九. IV-2-A)	・印象採得の手順を説明できる。 ・印象採得で用いる器材の名称と用途を説明し、準備ができる。
15 ・ 16	7	22	金	1 ・ 2	佐藤(佳) 非常勤講師	第2・3・4 実習室 実験室	補綴処置 2 1) 精密印象採得 (シリコーン印象材) 2) 対合歯印象採得 3) 石膏模型作製 (九. IV-2-A)	・印象採得の手順を説明できる。 ・印象採得で用いる器材の名称と用途を説明し、準備ができる。
17 ・ 18	7	22	金	3 ・ 4	鈴木	第2実習室	手術の準備 3 1) 手指の消毒法 ・手指消毒 ・滅菌手袋の装着法 2) ガウンテクニック 3) ドレーピング (九. I-7-C)	・外科処置にあたっての手洗い方法を理解し実践できる。 ・滅菌手袋を滅菌状態を保ったまま装着することができる。 ・滅菌ガウンを滅菌状態を保ったまま装着することができる。また、装着の介助ができる。 ・手術中の滅菌状態の確保(ドレープ)
19 ・ 20	7	25	月	1 ・ 2	太田 非常勤講師 1名	第3・4 実習室	手術の準備 2 1) 手術前の口腔内清掃 (相互実習) (八. III-1~3)	・手術当日に行う口腔内清掃が実践できる。
21 ・ 22 ・ 23	9	9	金	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師 1名	第3・4 実習室	手術の準備 4 1) 手術前の口腔内清掃 (相互実習) (八. III-1~3)	・手術当日に行う口腔内清掃が実践できる。
	9	20	火	1	高藤	第2講義室	定期試験	

第2学年 感染予防法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 教授 岸 光男 教員 佐藤佳奈枝
一般目標	歯科医療機関における実際の感染予防法を習得するために、医療従事者の感染予防対策と疾患別感染予防対策について知識と技術を習熟させる。
成績評価	筆答90点、授業・実習態度(身嗜み、提出物含む)10点により総合的に評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論 第2版」(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」(医歯薬出版)
参考書	「新・歯科医療における感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄」(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	14	木	4	佐藤	第2講義室	医療安全管理Ⅰ リスクマネジメント 1) リスクマネジメントの概要 2) 事故防止対策 (五.Ⅰ-5-A、九.Ⅰ-6-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントについて説明できる。 ・歯科診療室における医療安全対策の必要性を説明できる。 ・事故発生時の対応と事故の防止方法を理解し説明できる。
2	4	19	火	1	佐藤	第2講義室	医療安全管理Ⅱ 感染予防対策 1) 感染予防対策の基本知識 2) 現在の感染予防対策の基本 3) 感染予防対策の実践 (五.Ⅰ-5-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症と感染予防対策について説明できる。 ・感染の要因と歯科医療現場での感染経路別予防対策について説明できる。 ・感染リスクとその対策について説明できる。
3	5	26	木	4	岸	第2講義室	医療安全管理Ⅲ ゾーニング 1) ゾーニングと感染予防策 (九.Ⅰ-6-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニングについて理解できる。 ・歯科におけるゾーニングの実際について説明できる。 ・手指衛生の実際について説明できる。
4	6	28	火	1	佐藤	第2講義室	患者主体の感染予防対策 1) 患者の受け入れ 2) 守秘義務 3) 歯科医療従事者の感染予防対策 (九.Ⅰ-3-B、6-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療における、さまざまな患者の受け入れ体制と守秘義務について説明できる。 ・歯科医療現場における病原体の伝播様式を理解し、歯科医療従事者としての果たすべき責務について説明できる。
5	7	5	火	1	佐藤	第2講義室	歯科における感染予防対策Ⅰ 1) 感染ハイリスク患者と歯科治療 2) 歯科診療における感染リスク (九.Ⅰ-6-B、 Ⅰ-7-B~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・全身疾患と易感染の関連性を理解し、注意事項を述べることができる。 ・器材の感染リスク分類、感染対策分類を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6 ・ 7	7	7	木	1・ 2	佐藤	第2講義室 第3実習室 第4実習室	歯科における感染予防対策Ⅱ 1)環境感染予防対策 2)器材の適切な再生処理 (九. I - 6 - B、I - 7 - E)	<ul style="list-style-type: none"> 診療内容別に、使用器具の洗浄・消毒・滅菌の実際の流れを理解する。 各種消毒剤の特徴を理解し、場面に応じた選択ができる。
8	9	7	水	4	佐藤	第2講義室	医療事故防止対策 1)KYT(危険予知訓練) (九. I - 6 - A)	<ul style="list-style-type: none"> 場面に潜む危険を予測・察知できる。
	9	22	木	2	佐藤	第2講義室	定期試験	

第2学年 臨床検査法

時間数	20時間 (2時間×10回)
担当者	医学部 臨床検査医学講座 教授 諏訪部章 医学部 臨床検査医学講座 助教 小笠原理恵 医学部 臨床検査医学講座 非常勤講師 鈴木啓二郎 医学部 臨床検査医学講座 非常勤講師 阿保徹 医学部 睡眠医療学科 教授 西島嗣生
一般目標	患者に最初に接する機会が多い歯科衛生士として、病態を理解し、検査データについてもそのデータの表す意味や正常値を理解し、患者の全身状態をよく把握するためにも、臨床検査の知識は不可欠なものである。 本講義は、学生が臨床検査の概要を理解し、臨床で検査の準備、介助および補助、患者との応対の際に役立つようにすることにある。
成績評価	出席(10%)、筆記試験の成績(90%)で総合評価する。
教科書	ミッフィーのよくわかる病院の検査と数値のみかた(エクスナレッジ) 最新歯科衛生士教本「臨床検査」(医歯薬出版)
参考書	読んで上達！病気がわかる検査値ガイド(金原出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	5	20	金	1	諏訪部	臨床検査法序説 1 1) 臨床検査の必要性和種類 (六. I-4-A・C)	・診断の確定と診療方針の決定に利用される臨床検査の必要性を理解し、検査方法による種類を説明できる。
2	5	20	金	2	諏訪部	臨床検査法序説 2 1) 検査成績の読み方と疑われる疾患	・患者の誘導と説明、検体取り扱いの注意、検体の依頼法、検査成績の読み方を理解し、患者に対応できる能力を養う。
3	5	27	金	1	諏訪部	肝機能検査 1) 肝臓の構造と機能 2) 肝機能検査	・肝臓の構造と機能を理解し、肝機能検査方法、項目について理解する。
4	5	27	金	2	諏訪部	糖尿病の検査 1) 糖尿病とは 2) 糖尿病の検査法	・糖尿病の種類と検査方法、項目について理解する。
5	5	31	火	3	西島	生理検査(生体検査)体温・脈拍・血圧 1) 生理検査(生体検査)とは 2) 体温 3) 脈拍 4) 血圧 (六. I-4-C)	・歯科の一般臨床において、最も身近に対応できる生理検査としての体温、脈拍、血圧について理解する。
6	6	16	木	4	鈴木	血液検査と採血法 1) 血液を試料とする検査 2) 採血法 血液型検査 1) ABO式血液型 2) Rh式血液型 3) 不規則抗体 4) 交差適合試験 (六. I-4-C)	・血液の成分、血球の種類や生体での役割について理解する。 ・採血方法と血液検体、採取方法について理解する。 ・輸血に関連する検査について理解する。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
7	6	17	金	3	阿保	貧血の検査 1) 貧血の分類 2) 貧血の検査 出血性素因の検査 1) 出血性素因とは 2) 出血性素因のスクリーニング検査 (六. I-4-C)	・貧血の分類と検査方法を理解する。 ・出血性素因の分類とスクリーニング検査法、検査項目について理解する。
8	6	24	金	3	小笠原	尿検査 1) 尿はどのように作られるか 2) 尿検査でなにがわかるか 3) 腎機能検査 (六. I-4-C)	・尿検査の意義、検査法、検査項目について理解する。
9	6	24	金	4	小笠原	感染症の検査 1) 感染症の検査 (六. I-4-C)	・歯科領域で関わりの深い感染症の種類、検査方法、検査項目について理解する。
10	9	16	金	2	諏訪部	定期試験	

第2学年 救急蘇生法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	歯学部 口腔顎顔面再建学講座(歯科麻酔学分野) 助教 筑田 真未
一般目標	歯科衛生士の業務は歯科診療補助、歯科予防処置と歯科保健指導であるが、高齢社会を迎え、合併症を有する歯科患者の数が増加傾向にある。そこで本講義では歯科衛生士として必要な全身的な合併症の知識や偶発症発生時の対処と実践、精神鎮静法、局所麻酔および全身麻酔について理解することを目的とする。
成績評価	筆記試験の成績で総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	12	月	3	筑田	序論 救急処置に必要な基礎知識 1) 呼吸の生理・解剖 2) 循環の生理・解剖 3) 自律神経	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療中に起こる全身的偶発症の概要について説明できる。 ・生命維持に必要な呼吸・循環の基礎について説明できる。
2	9	12	月	4	筑田	局所麻酔 1) 局所麻酔法 2) 局所麻酔薬 3) 血管収縮薬 4) 使用する器材 5) 局所的偶発症 (六. IV-3-A、九. V-5-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種局所麻酔法と施術時の注意点を説明できる。
3	9	26	月	3	筑田	精神鎮静法 1) 吸入鎮静法 2) 静脈内鎮静法 3) 一般的注意点 (六. IV-3-B、九. V-5-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・精神鎮静法の適応症と種類を説明できる。
4	9	26	月	4	筑田	全身麻酔 1) 術前管理 2) 全身麻酔法 3) 術中管理 4) 麻酔覚醒と抜管 5) 術後管理 (六. IV-3-C、九. V-5-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・全身麻酔の適応症と種類を概説できる。
5	10	3	月	3	筑田	救急蘇生法 1) 歯科治療時の全身的偶発症 2) 酸素療法 3) 静脈確保 4) 一次救命処置 5) 二次救命処置 (六. IV-5-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科治療時の全身的偶発症の概要を説明できる。 ・一次救命処置、二次救命処置の手順を説明できる。
6	10	3	月	4	筑田	口腔領域の神経疾患 1) 神経痛 2) 神経麻痺 3) 神経痙攣 (六. IV-1-I)	<ul style="list-style-type: none"> ・顎・口腔領域の神経疾患の症状を概説できる。
7	10	17	月	3	筑田	実習 1) バイタルサイン 2) CPR 3) AED (六. IV-5-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で修得した救急蘇生法を実践できる。
8	12	14	水	2	筑田	定期試験	

第2学年 社会保険事務

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	岩手県歯科医師会 理事 西郷 史郎 教員 太田 彩香
一般目標	社会保険制度を理解し、歯科臨床における診療録と診療報酬明細書の記入と事務処理ができるようにするために、その仕組みと記入方法を習得する。
成績評価	筆答(100%)
教科書	歯科衛生士のための歯科診療報酬入門2022-2023
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	6	17	金	4	太田	診療録における歯式の記入 1) 歯式の略語について 2) 記入方法について	<ul style="list-style-type: none"> 診療録の歯式と略語を説明できる。
2	6	30	木	4	西郷	社会保険の沿革 1) 社会保険について 2) 社会保険制度 3) 社会保険行政の組織 医療保険 1) 医療保険の概要と給付 2) 医療保険の種類と費用負担 3) 国民医療費 介護保険 1) 介護保険制度の概要 2) 介護サービスの利用	<ul style="list-style-type: none"> 社会保険制度と医療保険の概要について理解し、その種類と医療保険の費用負担について説明できる。 介護保険の概要と給付の流れを説明できる。
3	7	7	木	4	西郷	年金保険 1) 国民年金 2) 厚生年金保険 3) その他の保険 労働保険 1) 雇用保険 2) 労働災害補償保険 保険医療組織 保険医療機関での責務	<ul style="list-style-type: none"> 年金制度について理解し、年金の給付と種類について説明できる。 雇用保険と労働災害補償保険について説明できる。 保険医療機関の責務と規則について説明できる。
4	7	14	木	4	西郷	歯科診療報酬の請求 I 1) 歯科診療報酬点数表 2) 診療報酬明細書の記載 3) 保険医療費の請求と支払い	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬明細書記載などの具体的実務ができる。 保険医療費の請求と支払いについての流れを説明できる。
5	8	22	月	2	太田	診療報酬明細書の記入 I 1) 基本診療料 2) 特掲診療料 3) 画像診断料	<ul style="list-style-type: none"> 各種診断料の名称、保険点数表の構成を理解し、診療報酬明細書に記入できる。
6	9	1	木	4	西郷	歯科診療報酬の請求 II 1) 各種治療の進め方 (保存修復、歯内療法、補綴治療)	<ul style="list-style-type: none"> 各種治療の一連の流れを理解し治療の内容に沿った算定方法が説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
7	9	5	月	2	太田	診療報酬明細書の記入Ⅱ 歯冠修復治療	・歯冠修復治療の内容を理解し、点数算定と診療報酬明細書に記入できる。
8	9	5	月	3	太田	診療報酬明細書の記入Ⅲ 歯内療法	・保存治療および歯内療法の内容を理解し、点数算定と診療報酬明細書に記入できる。
9	9	7	水	1	太田	診療報酬明細書の記入Ⅳ 欠損補綴(ブリッジ算定)	・補綴治療の内容を理解し、各段階における点数算定と診療報酬明細書に記入できる。
10	9	29	木	4	西郷	歯科診療報酬の請求Ⅲ 1) 歯周治療の進め方	・歯周治療の一連の流れを理解し、算定方法について説明できる。
11	10	6	木	4	西郷	歯科診療報酬の請求Ⅳ 1) 歯科疾患管理料 2) 医学管理・歯科疾患管理料等 介護保険での居宅療養管理の請求 1) 要介護者に対する医療保険と介護保険の関係 2) 居宅療養管理指導の請求	・各種指導管理料について理解し、治療の流れとあわせて説明できる。 ・要介護者に対する医療保険と介護保険の関係を理解し、介護保険請求の流れを説明できる。
12	10	24	月	3	太田	診療報酬明細書の記入Ⅴ 欠損補綴(義歯算定)	・床義歯作製の手順を理解し、各段階における点数算定と診療報酬明細書に記入できる。
13	11	14	月	3	太田	診療報酬明細書の記入Ⅵ 口腔外科治療	・口腔外科治療の内容を理解し、点数算定と診療報酬明細書に記入できる。
14	11	28	月	1	太田	診療報酬明細書の記入Ⅶ 歯周治療	・歯周治療内容および歯周治療における歯科衛生士の関わりを理解し、点数算定と診療報酬明細書に記入できる。
15	12	5	月	1	太田	演習講義 知識の定着	・診療録の歯式を説明できる。 ・診療録の略称を説明できる。 ・歯科診療報酬の点数算定と診療料報酬明細書への記入ができる。
	12	13	火	2	西郷 太田	定期試験	

第2・3学年 病院等臨床実習

時間数	760時間
担当者	岩手医科大学附属病院歯科医療センター 医師 千葉 俊美 (オリエンテーション) 岩手医科大学附属病院歯科医療センター 歯科医師 歯科衛生士 診療放射線技師 歯科診療所 歯科医師 歯科衛生士 教員 佐藤 佳奈枝 太田 彩香
一般目標	歯科衛生業務を修得するために、歯科診療の場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術、態度を身につける。
成績評価	出席(9割以上)、実習評価を総合して成績評価とする。
教科書	「歯科医師のための内科学」(医歯薬出版)
参考書	令和4年度生 臨床実習必携 令和4年度生 臨床実習帳

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
	9	6	火	3 ・ 4	鈴木	歯科診療所実習 オリエンテーション	
	9	27	火	1 ・ 2	千葉	岩手医科大学歯科医療センター実習 オリエンテーション(全身疾患への対応)	
1 〓 100	10 〓 12	11 〓 9	火 〓 金	1 〓 4	各施設 歯科医師 歯科衛生士	岩手医科大学歯科医療センター 高度先進保存科 高度先進補綴科 口腔外科 口腔総合診療科 矯正歯科 小児歯科 口腔ケア外来 口腔インプラント科 障害者歯科 歯科放射線科	<ul style="list-style-type: none"> ・診療室のルールを理解できる。 ・医療安全管理に配慮した行動ができる。 ・感染予防(消毒・滅菌、手指消毒)対策に応じた行動ができる。 ・器材、機器および薬品の管理の方法を理解した行動ができる。 ・患者のデータ資料の管理方法を理解できる。 ・スタッフ間の連携、共同動作について理解できる。 ・各症例について概要を理解できる。 ・治療の流れを理解し、関連する技術を修得する。 ・口腔衛生指導ができる。 ・患者誘導、ライティング法、バキューム法ができる。
	R5年度					歯科診療所 <実習項目> 1. 診療開始前の準備 2. 器材器具及び材料の取り扱い 3. 歯科診療補助及び介助 4. 歯科予防処置の実技及び補助 5. 保健指導の実技及び補助 6. 患者誘導及び接し方 7. 各症例ごとの前準備・後始末	
	4 〓 7	18 〓 28	火 〓 金	1 〓 4			
	8 〓 9	22 〓 15	火 〓 金	1 〓 4			

第2学年 臨地実習 [幼稚園児歯科保健指導実習(4幼稚園)]

時間数	12時間
担当者	教員 鳥畑 美香
一般目標	幼児に対して適切に歯科保健指導を行う能力を身につけるため、幼稚園において実際に園児・園児の保護者・園の教諭に接し、対象者の情報収集と理解・コミュニケーション・歯科保健指導及び援助の方法について習得する。
成績評価	臨地実技評価、実習記録、製作物、日常点により総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版」(医歯薬出版)
参考書	「オーラルヘルスケア辞典」(学建書院)

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	5	11	水	1 ～ 4	鳥畑	幼稚園児に対する 歯科保健指導実習 [学校法人ひまわり学園 認定こども園 都南幼稚園]	・実習に関する準備ができる。 ・対象者の状況把握に努め配慮した適切な対応ができる。 ・集団歯科保健指導において、自分の役割を遂行することができる。 ・園児・保護者・職員に対し、コミュニケーションがとれる。 ・対象者に合った歯科保健指導ができる。 ・媒体を使用し栄養指導ができる。 ・実習終了後の後始末ができる。 ・実習記録において、ポイントをまとめ、丁寧に記録することができる。
		12	木				
	5	13	金	1 ～ 4			
	5	16	月	1 ～ 4			
		17	火				

第2学年 臨地実習 [小学校児童歯科保健指導実習]

時間数	6時間
担当者	教員 佐藤佳奈枝 金子由美子 太田彩香
一般目標	小学校児童への口腔衛生活動を円滑に展開するために、発達段階および日常生活行動を理解し、その対応法を学ぶ。
成績評価	臨地実技評価、指導案・実習記録、日常点により総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」(医歯薬出版) 歯科保健指導関係資料2021年版
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	6	21	火	1 5 4	佐藤(佳)	小学校児童に対する 歯科保健指導実習 1) 臨地実習準備 2) 児童・教諭・職員に対する挨拶 3) 小学校児童に対する歯科保健指導 ① 学年別指導のテーマと集団指導の方法 1年生: 人形劇 「永久歯(特に第1大臼歯)の虫歯予防について」 2年生: 紙芝居 「むし歯、歯垢、砂糖、ミュータンス菌の関係について」 3年生: パネル 「むし歯になりにくいおやつ選び方」 4年生: パネル 「歯の役割 <かむことの大切さ>」 5年生: スライド 「健康な歯肉と歯肉炎について」 6年生: パネル 「歯周病と全身の健康について」 ② 共通指導内容 ・ 歯垢染め出し(一部) ・ 歯垢付着状態の観察と記録 ・ 口腔内の観察と記録 ・ ブラッシング指導 ・ 生活面に視点を置いた歯科保健指導 4) 臨地実習終了後始末 5) 実習記録の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習に関する準備が確実にできる。 ・ 授業で学んだ学齢期の特徴を実際に確認できる。 ・ 児童の人権、人格を尊重した対応ができる。 ・ 集団歯科保健指導において、自分の役割を確実に遂行することができる。 ・ 小学校児童に対し、コミュニケーションがとれる。 ・ 学年に応じたわかりやすい教材を使用し、指導計画に沿った歯科保健指導ができる。 ・ 集団歯科保健指導において、以下の内容を指導・援助することができる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 歯垢染め出し (2) 歯垢付着状態の観察と記録 (3) 口腔内の観察と記録 (4) ブラッシング指導 (5) 生活面に視点を置いた歯科保健指導 ・ 実習終了後、現地において自分の実習成果を簡潔に述べることができる。 ・ 実習終了後の後始末が確実にできる。 ・ 実習記録において、ポイントをまとめ丁寧に記録することができる。

第2学年 臨地実習 [作業療法士学生と歯科衛生士学生の教育内容交換実習]

時間数	6時間
担当者	教員 金子由美子
一般目標	1. 成人に対する歯科保健指導及び要介護者に対する口腔ケアについて作業療法士学生を対象に実技指導することにより実践能力を身につける。 2. 姿勢評価の基本について作業療法士学生から学ぶことにより、施設や居宅において食事介助、口腔ケアを実施する場合の評価方法を習得する。
成績評価	臨地実技評価、指導案・実習記録、日常点により総合評価する。
教科書	
参考書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論、高齢者歯科学

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	9	3	土	1 ～ 3	金子	<p>作業療法士学生と歯科衛生士学生の教育内容交換実習</p> <p>1) 臨地実習準備</p> <p>2) 作業療法士学生・職員に対する挨拶</p> <p>3) 歯科衛生士学生が作業療法士学生に対して行う歯科保健指導実習内容 (90分間)</p> <p>青年期歯科保健指導</p> <p>①医療面接</p> <p>②口腔内の観察と記録</p> <p>③歯垢の顕示と説明</p> <p>④日常のブラッシングと観察</p> <p>⑤ブラッシング指導</p> <p>⑥歯科保健指導</p> <p>⑦ホームケアのポイント</p> <p>プロフェッショナルケアの必要性について</p> <p>口腔ケアについて (義歯の取扱い含む)</p> <p>4) 作業療法士が歯科衛生士学生に対して行う姿勢評価の基本実習内容 (90分間)</p> <p>①姿勢の特徴 (臥位、座位、立位)</p> <p>②端座位・椅子座位の違い</p> <p>③座位姿勢の評価</p> <p>④座位姿勢の違いによる上肢・体幹機能の変化</p> <p>5) 臨地実習終了後始末</p> <p>6) 実習記録の作成 (90分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に関する準備が確実にできる。 ・作業療法士学生を対象に、以下の内容で歯科保健指導することができる。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 対象者の状況把握 (2) 齲蝕・歯周病の原因 (3) ブラッシング方法 (4) 歯ブラシの選択 (5) 補助清掃用具 (6) 歯磨剤・洗口剤 (7) 生活習慣に視点をおいた歯科保健指導 (8) プロフェッショナルケアの必要性 (9) 口腔ケアの必要性 (10) 口腔機能低下症とオーラルフレイル (11) 口腔機能訓練 (12) 義歯の取り扱い ・作業療法士学生から伝えられた以下のことについて説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 姿勢の特徴を説明できる (2) 端座位・椅子座位の違いを説明できる (3) 座位姿勢の評価ができる (4) 座位姿勢の違いによる上肢・体幹機能の変化を説明できる ・感染予防を基本とした後始末が確実にできる。 ・チャート用紙において口腔衛生状態・歯肉炎指数(PMA)等を正しく処理することができる。 ・実習記録において、各実習の実習内容のポイントをまとめ丁寧に記録することができる。

第2学年 臨地実習 [訪問歯科診療・訪問歯科衛生指導実習]

時間数	6時間
担当者	守口歯科クリニック 歯科医師 小豆嶋 正典 守口歯科クリニック 歯科衛生士
一般目標	高齢社会のニーズに応じた歯科衛生業務を修得するために、介護保険施設での訪問歯科診療、訪問歯科衛生指導の見学を通して歯科衛生士として必要な知識、技術、および態度を身につける。
成績評価	事前学習レポート、実習記録、取組みにより総合評価する。
教科書	
参考書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論、高齢者歯科学

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	10	20	木	1 5 4	小豆嶋	社会福祉法人 千晶会 千年宛 ①訪問歯科診療の見学・介助 ②訪問歯科衛生指導の見学・介助 臨床実習期間中の毎週木曜日に 実習を行う。(14班編成)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設の概要を説明できる。 ・訪問歯科診療の介助ができる。 ・訪問歯科衛生指導の内容を概説できる。 ・対象者に配慮した対応ができる。 ・感染予防対策に応じた行動ができる。
	10	27					
	11	10					
	11	17					
	11	24					
	12	1					
	12	8					
	1	12					
	1	19					
	1	26					
	2	2					
	2	9					
	2	16					
	3	2					

第2学年 研究

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 教授 岸 光男 教務主任 鈴木奈津子 教員 金子由美子 鳥畑美香 佐藤佳奈枝 太田彩香 岩手医科大学附属図書館 司書
一般目標	問題発見・問題解決を基本とした歯科に関する研究の基本的な内容を学び、実際に研究へ取り組むことにより、テーマ設定から論文作成、発表までの手法を習得する。また歯科衛生士としての研究活動の必要性を理解し、科学的思考能力を身につける。
成績評価	研究計画書、日常点により総合評価する。
教科書	
参考書	「歯科衛生研究の進め方・論文の書き方 第2版」(医歯薬出版株式会社)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目	学習到達目標
1	7	1	金	4	鈴木	第2講義室	研究とは 1) 研究の概要 2) 問題発見、研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 研究のテーマについて、自分の興味のある分野を列挙できる。 歯科衛生業務における研究の意義を述べることができる。
2	7	6	水	4	鈴木	第2講義室	研究の進め方・1 1) 研究全体の進め方 2) 研究テーマの設定 3) 研究デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 研究の目標と手順及び作業仮説を説明できる。 研究計画の立案と研究方法について説明できる。
3	7	13	水	4	鈴木	第2講義室	研究の進め方・2 1) 研究計画書の作成 2) データの収集方法 3) 結果のまとめ方 4) 考察とは	<ul style="list-style-type: none"> 研究データの収集と分析方法を説明できる。 研究結果と考察の違いを説明できる。
4	8	18	木	4	岸	第2講義室	研究倫理 1) 研究倫理とは 2) 利益相反 3) 研究対象者の保護	<ul style="list-style-type: none"> 研究倫理とは何か概説できる。 利益相反について説明できる。 研究対象者が保護されるべき理由を説明できる。
5	8	31	水	4	鈴木 図書館司書	第1実習室	研究の進め方・3 1) 文献検索の方法	<ul style="list-style-type: none"> 情報の種類と特性について理解できる。 論文の種類について説明できる。 医中誌での文献検索の方法を理解できる。
6 ~ 15	9	6	火	1	鈴木 金子 鳥畑 佐藤(佳) 太田	第2講義室	学生の研究取り組み 1) テーマの検討 2) 研究計画書の立案と作成 3) 参考文献調査 4) 調査研究のための指標と方法 5) 調査・研究対象の設定 6) 調査・研究項目 7) データのまとめ 8) 検定 9) 統計図表 10) 考察 11) 結論	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの検討から結論までの作業仮説を立案し、計画書を作成できる。 参考文献を十分に検索し、具体的に記述することができる。 実際に研究を行うことができる。
	9	7	水	2				
	10	5	水	3				
	11	7	月	3				
	12	15	木	1				
	12	15	木	2				
	12	15	木	3				
	12	15	木	4				
	12	19	月	1				
				2				

第2学年 コミュニケーション論

時間数	12時間 (2時間×6回)
担当者	教務主任 鈴木 奈津子
一般目標	コミュニケーションは、対人関係を作り維持していくために必要不可欠なツールである。この講義では、コミュニケーションについて再考するとともに、自己表現の方法についても学ぶ。また日本語表現をさまざまな角度から学ぶことで豊かな言語感覚を身につけ、理論だけではなく実践でいかせるコミュニケーション能力の養成を目指す。
成績評価	レポートで評価する。
教科書	プリント配布
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	27	水	4	鈴木	コミュニケーションとは 日本語表現①	<ul style="list-style-type: none"> 言葉と心の関係を説明できる。 コミュニケーションの方法、意義について説明できる。 日本語の成り立ちについて説明できる。
2	5	24	火	3	鈴木	コミュニケーションの要素 日本語表現②	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの要素について説明できる。 修辭的表現について説明できる。
3	6	7	火	3	鈴木	自己表現のタイプ 日本語表現③	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現のタイプを説明できる。 自分の自己表現タイプがわかる。 日本語表現の誤用について理解できる。
4	7	5	火	3	鈴木	自己表現のためのスキル 日本語表現④	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現のための4つのスキルについて理解できる。 外来語を言いかえることができる。
5	7	8	金	4	鈴木	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション 日本語表現⑤	<ul style="list-style-type: none"> 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて説明できる。 慣用句表現について説明できる。
6	7	12	火	3	鈴木	日本語表現⑤ まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 敬語を使って会話できる。